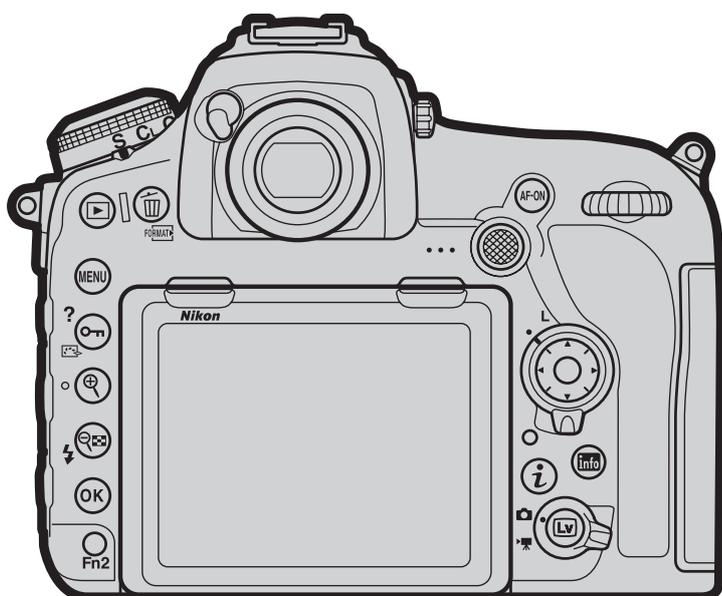
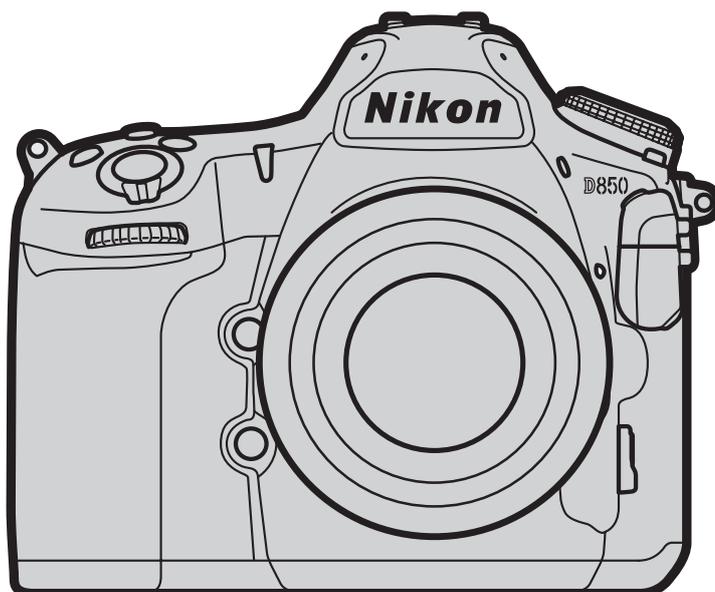


# Nikon



## D-Movie Setting Guide

# D850



Jp

# 目次

## ■ 撮影フロー

動画撮影フロー ..... 4

## ■ 撮影前の準備

動画撮影でよく使用するボタンやダイヤル ..... 6

ライブビュー画面について ..... 7

● 情報表示について ..... 7

● 動画ライブビュー時の表示切り換え ..... 7

● 水準器表示について ..... 9

## ■ 撮影の設定

動画撮影時の設定方法について ..... 10

● **i** ボタン ..... 10

● 各種ボタン ..... 11

● 動画撮影メニュー ..... 11

画質に関する設定 ..... 12

● 画像サイズ / フレームレート・動画の画質 ..... 12

● ISO 感度 ..... 13

● ホワイトバランス ..... 14

● ピクチャーコントロール ..... 16

● 高感度ノイズ低減 ..... 19

● 撮像範囲設定 ..... 20

● 電子手ブレ補正 ..... 21

露出に関する設定 ..... 22

● 測光モード ..... 22

● 露出モード ..... 23

● 露出補正 ..... 24

● アクティブ D-ライティング ..... 25

● フリッカー低減 ..... 25

録音に関する設定 ..... 26

● マイク感度 ..... 26

● アッテネーター ..... 26

● 録音帯域 ..... 27

● 風切り音低減 ..... 27

● ヘッドホン音量 ..... 28

フォーカスに関する設定 ..... 29

● フォーカスモード ..... 29

● AF モード ..... 29

● AF エリアモード ..... 30

● ピーキングの検出 ..... 32

保存に関する設定 ..... 33

● 動画記録先 ..... 33

● 動画記録ファイル形式 ..... 33

操作や表示に関する設定 ..... 34

● マルチセレクトターによるパワー絞り ..... 34

● マルチセレクトターによる露出補正 ..... 34

● カスタムボタンの機能 ..... 35

● ハイライト表示 ..... 38

● モニターの明るさ ..... 39

● モニターのパワーオフ時間 ..... 40

## ■ 応用的な動画の撮影

### タイムラプス動画を作成する..... 41

- 動画撮影メニュー [タイムラプス動画] を使用した撮影の手順.....41
- 静止画撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] を使用した撮影の手順.....45

### スローモーション動画を撮影する..... 49

### HDMI 対応機器に出力する..... 50

- HDMI ケーブルを使って外部レコーダーと接続する .....50
- HDMI 対応機器との接続時の設定を変更する .....50

## ■ 動画の再生

### 動画再生時の便利な機能..... 52

- 10 秒進める /10 秒戻す .....52
- インデックスマークに移動する.....52
- 先頭フレーム / 最終フレームに移動する.....52
- スロー再生する .....52
- タッチパネルで操作する .....52

### 分割記録された動画を結合する ..... 53

## ■ 付録

### イメージセンサークリーニングについて..... 54

### トラブルシューティング..... 55

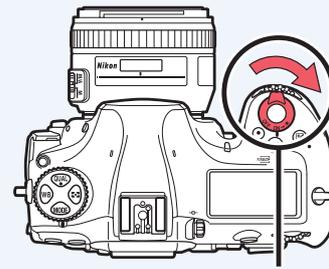
- カメラが高温になるのを抑えるには.....55
- 動画記録時に発生しやすい現象について .....55
- 記録した動画の保存について .....55
- メニュー項目が選択できない場合の対処方法について .....56

### D850 動画機能関連スペック一覧..... 58

# 動画撮影フロー

## 1 撮影前の準備

動画を撮影する前にカメラの各部名称を確認し、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れてください。長時間撮影する場合は、別売のバッテリーパックまたは AC アダプターのご使用をおすすめします。このカメラの対応アクセサリーについては [58 ページ](#) をご確認ください。カメラの準備ができましたら、電源を ON にしてください。

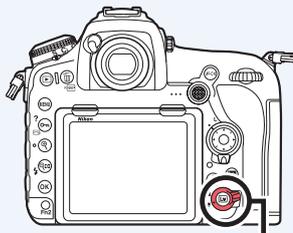


電源スイッチ

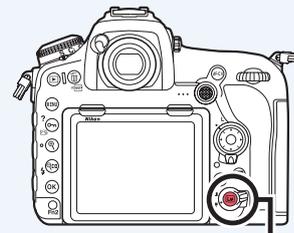
- 動画撮影でよく使用するボタンやダイヤル..... [6](#)
- ライブビュー画面について..... [7](#)

## 2 動画ライブビューにして設定を行う

ライブビューセレクターを **📹** (動画ライブビュー) に合わせます。 **LV** ボタンを押します。



ライブビューセレクター



LV ボタン

### ■ 画質に関する設定

- 画像サイズ / フレームレート ..... [12](#)
- 動画の画質 ..... [12](#)
- ISO 感度 ..... [13](#)
- ホワイトバランス ..... [14](#)
- ピクチャーコントロール ..... [16](#)
- 高感度ノイズ低減 ..... [19](#)
- 撮像範囲設定 ..... [20](#)
- 電子手ブレ補正 ..... [21](#)

### ■ 露出に関する設定

- 測光モード ..... [22](#)
- 露出モード ..... [23](#)
- 露出補正 ..... [24](#)
- アクティブ D-ライティング ..... [25](#)
- フリッカー低減 ..... [25](#)

### ■ 録音に関する設定

- マイク感度 ..... [26](#)
- アッテネーター ..... [26](#)
- 録音帯域 ..... [27](#)
- 風切り音低減 ..... [27](#)
- ヘッドホン音量 ..... [28](#)

### ■ フォーカスに関する設定

- フォーカスモード ..... [29](#)
- AF モード ..... [29](#)
- AF エリアモード ..... [30](#)
- ピーキングの検出 ..... [32](#)

### ■ 保存に関する設定

- 動画記録先 ..... [33](#)
- 動画記録ファイル形式 ..... [33](#)

### ■ 操作や表示に関する設定

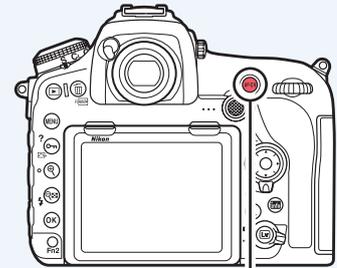
- マルチセレクターによるパワー絞り ..... [34](#)
- マルチセレクターによる露出補正 ..... [34](#)
- カスタムボタンの機能 ..... [35](#)
- ハイライト表示 ..... [38](#)
- モニターの明るさ ..... [39](#)
- モニターのパワーオフ時間 ..... [40](#)

## 動画撮影フロー

## 3 動画を撮影する

オートフォーカスで撮影する場合、動画撮影を開始する前にピント合わせを行います。

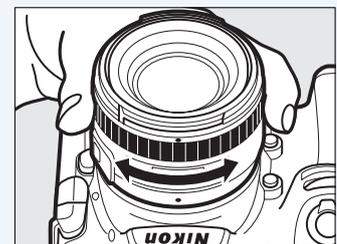
- 初期設定では、人物の顔を認識して自動的にピントを合わせる  顔認識 AF です。任意の場所にピントを合わせたい場合は、設定を変更してください (□30)。
- 画像モニターにタッチすると、タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。
- **AF-ON** ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせられます。



AF-ON ボタン

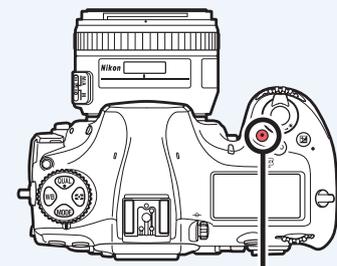
マニュアルフォーカスで撮影する場合、レンズのフォーカスリングを回して、被写体にピントを合わせます。

- **[ピーキングの検出]** (□32) を使用すると、ピントが合っている部分の輪郭が色付きで表示されます。現在どこにピントが合っているのかを簡単に確認できます。



動画撮影ボタンを押して、撮影を始めます。

- カスタムメニュー-g1 **[カスタムボタンの機能]** (□35) で **[シャッターボタン]** に **[動画撮影]** を割り当てると、シャッターボタンや別売のリモートコードまたはワイヤレスリモートコントローラーでも動画撮影の開始と終了を行うことができます。



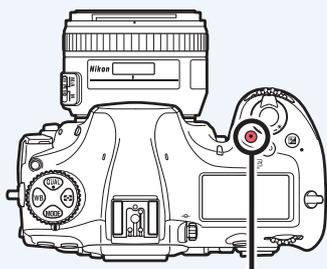
動画撮影ボタン

- タイムラプス動画を作成する ..... [41](#)
- スローモーション動画を撮影する ..... [49](#)
- HDMI 対応機器に出力する ..... [50](#)

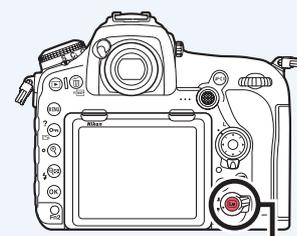
## 4 動画撮影を終了する

もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了します。

 ボタンを押してライブビューを終了します。

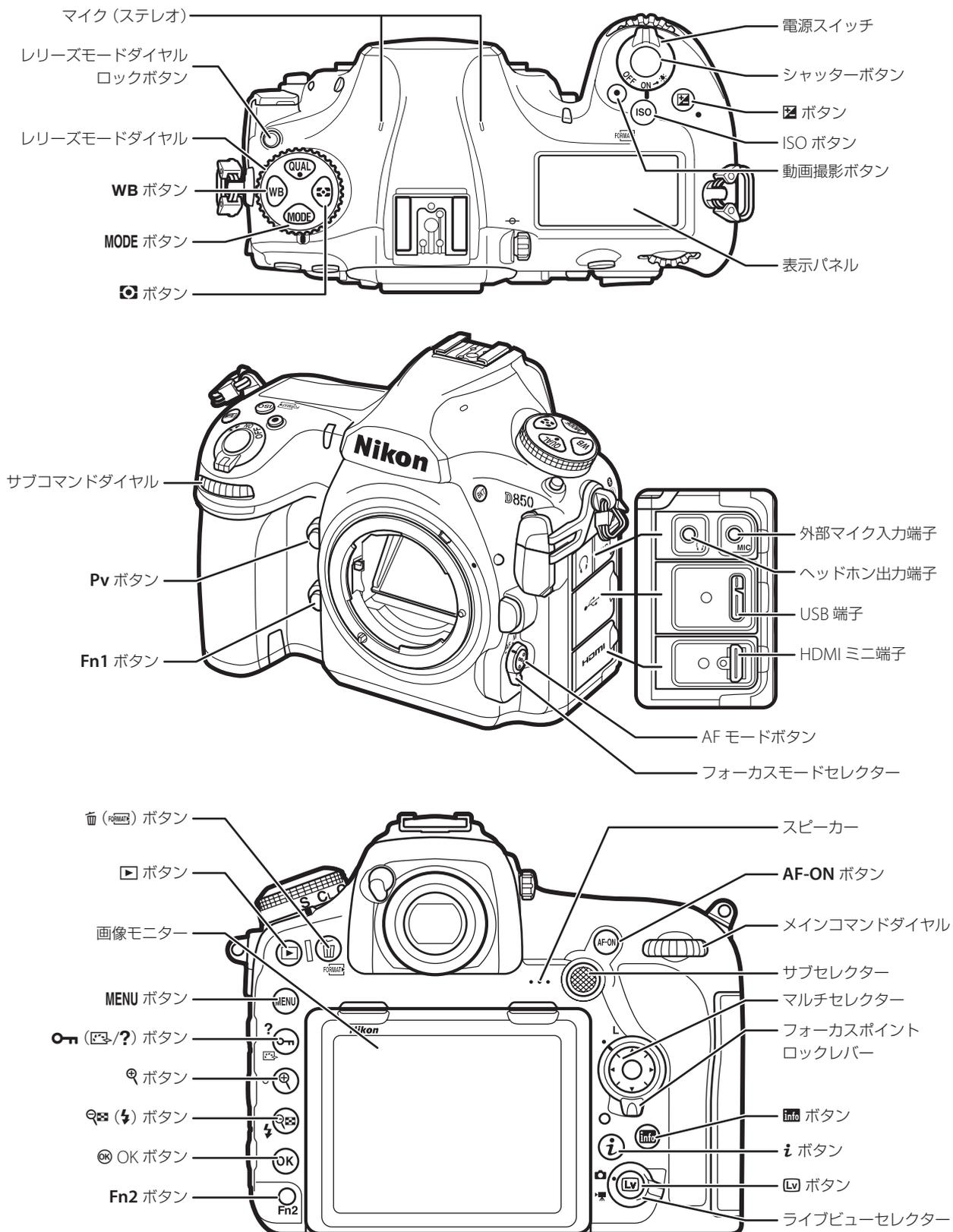


動画撮影ボタン



Lv ボタン

# 動画撮影でよく使用するボタンやダイヤル

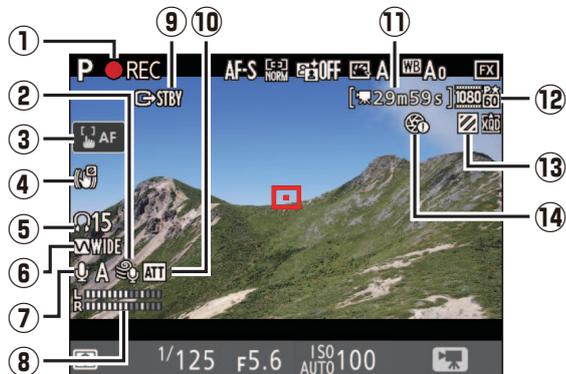


# ライブビュー画面について

動画ライブビュー中は、実際に撮影される動画や静止画の露出（明るさ）を画像モニターで確認できます。また、マイク感度やヘッドホン音量、画像モニターの明るさの調整などができます。

## 情報表示について

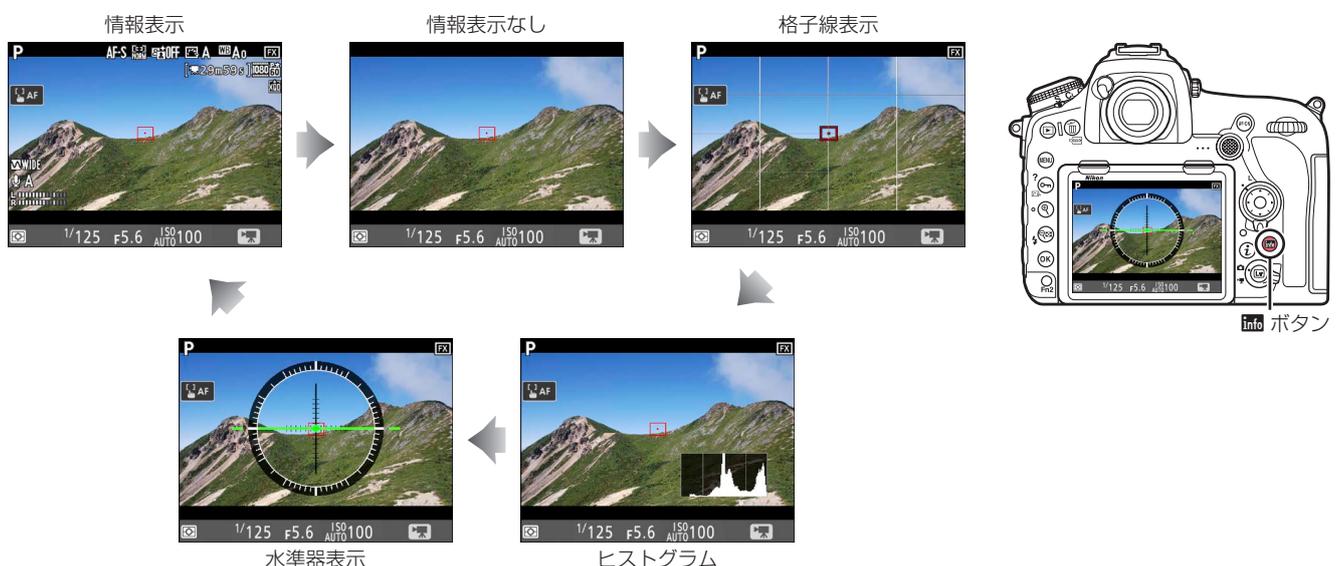
動画撮影時（ライブビュー時または動画記録時）に表示される画面のアイコンの意味は次の通りです。



① 録画中マーク	動画記録中に表示されます。動画が記録できない状態の場合は、動画記録禁止マーク (🚫) が表示されます。
② 風切り音低減マーク	風切り音低減 (🔊27) が有効の場合に表示します。
③ タッチ AF 切り換え	タッチ AF の有効 / 無効を切り換えます。タッチ AF を有効にしていると、タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせを行います。
④ 電子手ブレ補正マーク	電子手ブレ補正 (📐21) が有効の場合に表示します。
⑤ ヘッドホン音量	市販のヘッドホン接続時に表示されます。ヘッドホン出力の音量レベルを表示します。
⑥ 録音帯域マーク	録音帯域 (🔊27) の設定を表示します。
⑦ マイク感度	マイク感度 (🔊26) のレベルを表示します。
⑧ 音声レベルインジケータ	音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケータの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。
⑨ 動画同期記録マーク	HDMI 対応機器と接続して同期記録を行うときに表示されます (📺50)。
⑩ アッテネーターマーク	アッテネーター (🔊26) を有効にしているときに表示されます。
⑪ 動画記録残り時間	動画記録時に、メモリーカードに記録できる残り時間を表示します (🕒12)。
⑫ 動画の画像サイズ	動画の画像サイズ (📐12) を表示します。
⑬ ハイライト表示マーク	ハイライト表示が有効の場合に表示します。
⑭ パワー絞り禁止マーク	パワー絞りができないときに表示します。

## 動画ライブビュー時の表示切り換え

**Info** ボタンを押すたびに、動画の画面表示は次のように切り替わります。



## ライブビュー画面について

### 警告表示について

動画撮影時に表示される警告は次の通りです。

カメラ内部の温度上昇によりライブビューが終了する場合、終了 30 秒前から赤字で表示します。



メモリーカードが入っていない場合に表示します。

バッテリーの残量が残りわずかな場合に表示します。

### ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

自動的にライブビューを終了する 30 秒前から、画像モニターの左上にカウントダウンを表示します。カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] の設定により終了する場合は、終了 30 秒前から黒字で表示し、終了 5 秒前から赤字で表示します。[モニターのパワーオフ時間] の [ライブビュー表示] を [制限なし] に設定している場合も、カメラ内部の温度上昇などによりライブビューが終了する場合があります。

### ファイル名の文字色について

このカメラは、記録中の動画の容量が 4GB を超えると自動的にファイルを分割して記録します。ファイルが切り替わるタイミングでは、撮影中に表示されるファイル名の色が変わります。

通常	白色
30 秒前	黄色 (点滅)
10 秒前	赤色 (点灯)



## ライブビュー画面について

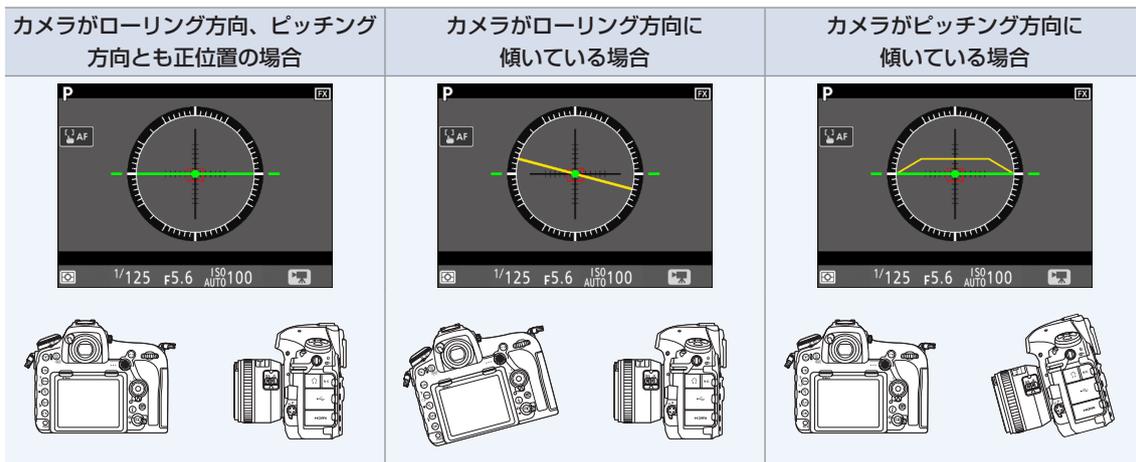
## 水準器表示について

画像モニターに水準器を表示させることで、カメラが水平になっているかを撮影しながら確認できます。三脚にセットしたカメラを水平に設置したい場合などに便利です。

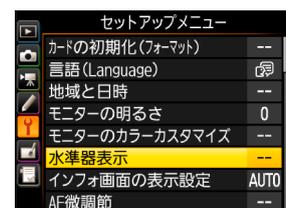
ライブビュー中、**info** ボタンを押して画面表示を切り換えることで、画像と重ねて水準器を表示させることができます。



- カメラを正位置（傾きのない状態）にすると、ローリング方向の場合は水準器表示の基準線が緑色に変わります。ピッチング方向の場合は基準線が緑色に変わり、中央に●が表示されます。
- 水準器の1目盛は、5°を表します。



セットアップメニューの [水準器表示] から表示させることもできます。



**！ 水準器の精度について**

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。

# 動画撮影時の設定方法について

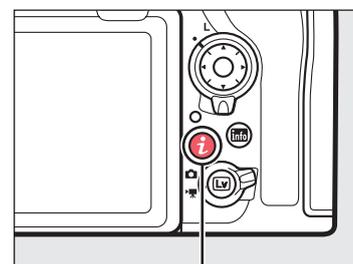
動画ライブビュー時に動画撮影の設定を変更するためには、**i** ボタンを使う方法、機能を割り当てられているボタンを使う方法、動画撮影メニューを使う方法の3つがあります。

## i ボタン

- 動画撮影時に **i** ボタンを押すと、次の機能の設定を変更できます。

項目	📖
撮像範囲設定	📖20
画像サイズ/フレームレート	📖12
動画の画質	📖12
アクティブ D-ライティング	📖25
マイク感度	📖26
アッテネーター	📖26
録音帯域	📖27
風切り音低減	📖27

項目	📖
動画記録先	📖33
モニターの明るさ	📖39
マルチセレクターによるパワー絞り	📖34
マルチセレクターによる露出補正	📖34
ハイライト表示	📖38
ヘッドホン音量	📖28
電子手ブレ補正	📖21
ピーキングの検出	📖32



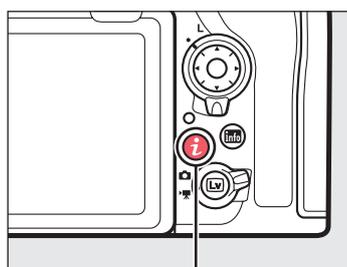
i ボタン

- ライブビュー画面のまま操作を行えるため、動画撮影のタイミングを逃すことなく設定を変更できて便利です。

## ■ i ボタンでの設定方法

### 1 動画撮影時に **i** ボタンを押す

- 設定できるメニューが表示されます。
- **i** ボタンを押したときの設定は、タッチ操作でも行えます。



i ボタン



### 2 設定したい項目を $\leftarrow$ / $\rightarrow$ で選び、 $\rightarrow$ を押す

- 設定項目が表示されます。



### 3 設定を $\leftarrow$ / $\rightarrow$ で選び、 $\odot$ ボタンを押す

- 設定が変更され、手順1の画面に戻ります。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



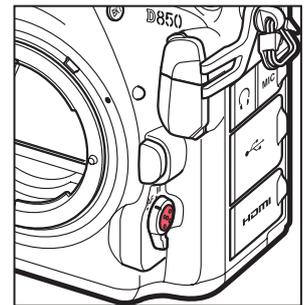
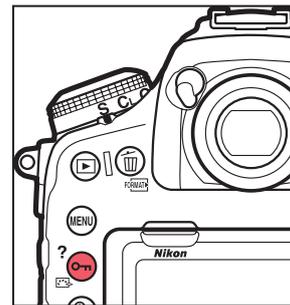
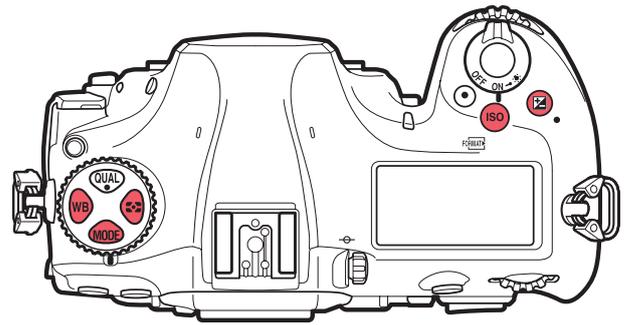
## 動画撮影時の設定方法について

### 各種ボタン

- カメラのボタンを押して、割り当てられている機能を設定できます。

ボタン	項目	
MODE ボタン	露出モード	☞23
WB ボタン	ホワイトバランス	☞14
☑ ボタン	測光モード	☞22
☒ ボタン	露出補正	☞24
ISO ボタン	ISO 感度	☞13
ON (E/?) ボタン	ピクチャーコントロール	☞16
AF モードボタン	AF モード、 AF エリアモード	☞29 ☞30

- ライブビュー画面のまま操作を行えるため、動画撮影のタイミングを逃すことなく設定を変更できて便利です。

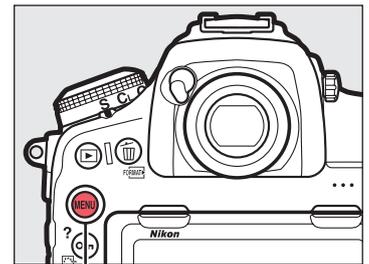


### 動画撮影メニュー

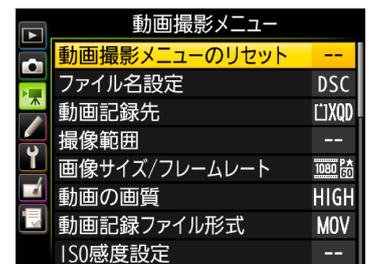
MENU ボタンを押して、タブの アイコンを選ばると、動画撮影メニューが表示されます。

メニュー項目	
動画撮影メニューのリセット	—
ファイル名設定	—
動画記録先	☞33
撮像範囲	☞20
画像サイズ/フレームレート	☞12
動画の画質	☞12
動画記録ファイル形式	☞33
ISO 感度設定	☞13
ホワイトバランス	☞14
ピクチャーコントロール	☞16

メニュー項目	
カスタムピクチャーコントロール	—
アクティブ D-ライティング	☞25
高感度ノイズ低減	☞19
フリッカー低減	☞25
マイク感度	☞26
アッテネーター	☞26
録音帯域	☞27
風切り音低減	☞27
電子手ブレ補正	☞21
タイムラプス動画	☞41



MENU ボタン



#### ✔ 設定可能な方法について

本書では、そのページで説明している機能がどの方法で設定できるかを右のような表で表しています。設定可能な方法には●が表示されています。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

# 画質に関する設定

動画の画質に関する設定は次の通りです。

## 画像サイズ / フレームレート・動画の画質

動画を記録するときの画像サイズ（ピクセル） / フレームレートおよび動画の画質を設定します。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

### ■ 画像サイズ / フレームレートの設定方法

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、**⏏** で [画像サイズ / フレームレート] または [動画の画質] を選んで **⏏** を押す

- 設定項目が表示されます。
- [画像サイズ / フレームレート] の設定項目は下の表をご覧ください。
- [動画の画質] の設定項目には [高画質] と [標準] があります。



- 2 **⏏** で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



### ■ [画像サイズ / フレームレート] および [動画の画質] について

項目の組み合わせによる最大ビットレートと最長記録時間は以下のとおりです。

画像サイズ (ピクセル) / フレームレート <sup>※1</sup>		最大ビットレート		最長記録時間 および 最長再生時間
		[動画の画質] <sup>※2</sup>		
		★高画質	標準	
	3840 × 2160 (4K UHD) 30p	144Mbps	—	29分59秒 <sup>※3</sup>
	3840 × 2160 (4K UHD) 25p			
	3840 × 2160 (4K UHD) 24p			
	1920 × 1080 60p	48Mbps	24Mbps	
	1920 × 1080 50p			
	1920 × 1080 30p			
	1920 × 1080 25p			
	1920 × 1080 24p	24Mbps	12Mbps	
	1280 × 720 60p			
	1280 × 720 50p			
	1920 × 1080 30p 4倍スロー			
	1920 × 1080 25p 4倍スロー			
	1920 × 1080 24p 5倍スロー	— <sup>※4</sup>	29Mbps	記録：3分 再生：15分

※1 60p：59.94 コマ / 秒 (fps)、50p：50 コマ / 秒、30p：29.97 コマ / 秒、25p：25 コマ / 秒、24p：23.976 コマ / 秒

※2 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。画像サイズを 3840 × 2160 に設定した場合は、常に高画質で記録されます。

※3 動画は最大 8 個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイルサイズは最大で 4GB です。1 回の撮影で作成されるファイルの数と 1 ファイルあたりの記録時間は [画像サイズ / フレームレート] および [動画の画質] の設定によって異なります。

※4 スローモーション動画の画質は標準に固定されます。

## 画質に関する設定

## ISO 感度

動画ライブビューでは、露出モードが P、S、A の場合は常に ISO AUTO（感度自動制御）で制御されます。ISO 感度が高くなり過ぎないように、上限感度を設定することもできます。露出モード M の場合は、さらに自分で ISO 感度を設定することも可能です。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	●

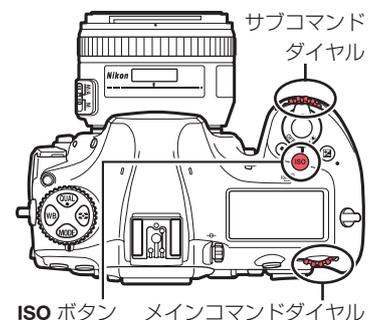
## ■ 露出モード P、S、A の場合

- ISO 感度は常に ISO 64 ~ Hi 2 の間で自動制御され、制御された ISO 感度は画像モニターと表示パネルに表示されます。



## ■ 露出モード M の場合

- 動画ライブビュー中に、ISO ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、ISO AUTO（感度自動制御する）と ISO（感度自動制御しない）を切り換えられます。動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [M モード時の感度自動制御] でも設定できます。
- ISO（感度自動制御しない）の場合、ISO ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと ISO 感度を ISO 64 ~ Hi 2 の間で設定できます。動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [M モード時の ISO 感度] でも設定できます。
- ISO 感度は、画像モニターと表示パネルに表示されます。



## ■ 上限感度を設定する

- 感度自動制御するとき ISO 感度が高くなりすぎないように、動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [制御上限感度] で上限感度を ISO 200 から Hi2 の間で設定できます。
- 露出モードが P、S、または A の場合と、露出モード M で [M モード時の感度自動制御] が [する] の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。



## ! 感度自動制御についてのご注意

- ISO 感度が上がると、被写体によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生することがあります。[高感度ノイズ低減] を [しない] 以外に設定すると、ざらつきを低減できます (p19)。
- ISO 感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
- 上記の現象が発生する場合は、動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [制御上限感度] を下げて撮影してください。

## 画質に関する設定

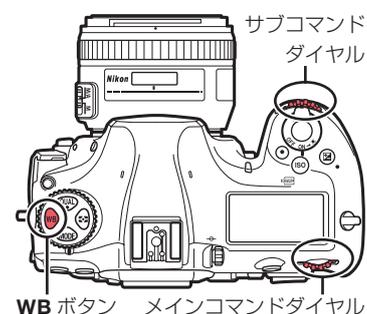
### ホワイトバランス

天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更します。

#### ■ ホワイトバランスの設定方法

- 動画ライブビュー中に、**WB** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。選んだ設定によって、画像モニターに表示される画像の色味が変更され、ホワイトバランスの効果をすぐに確認できます。
- ホワイトバランスが **AUTO** (オート) および  (蛍光灯) のときに、**WB** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、**AUTO** (オート) または  (蛍光灯) の種類を変更できます。
- ホワイトバランスが **K** (色温度設定) の場合は、サブコマンドダイヤルを回すと色温度が切り替わります。
- ホワイトバランスがプリセットマニュアルの場合は、サブコマンドダイヤルを回してプリセットマニュアルデータの保存場所を選べます。
- ホワイトバランスは、画像モニターと表示パネルに表示されます。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	●



#### ■ ホワイトバランスを微調整する

- 動画ライブビュー中に、**WB** ボタンを押しながらマルチセレクターを操作すると、ホワイトバランスを微調整できます。
- A (アンバー) および B (ブルー) 方向の調整を行うにはマルチセレクターの  または  を、G (グリーン) および M (マゼンタ) の調整を行うには  または  を押します。
- ホワイトバランスが **K** (色温度設定) の場合、A (アンバー)、B (ブルー) 方向の色温度のみ設定できます。**WB** ボタンを押しながら  または  を押すと、色温度を1桁ずつ選べます。 または  を押すと選んだ桁の数値を設定できます。G (グリーン) および M (マゼンタ) の調整は動画撮影メニューの [ホワイトバランス] で行ってください。
- ホワイトバランスがプリセットマニュアルの場合、ホワイトバランスの微調整は動画撮影メニューの [ホワイトバランス] で行ってください。



#### ✔ ホワイトバランスについて

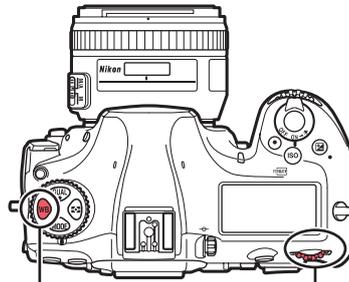
動画撮影メニュー [ホワイトバランス] で [静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影時と同じホワイトバランスの設定になります。

## 画質に関する設定

## ■ プリセットマニュアルデータの新規取得方法

撮影する光源下でホワイトバランスデータを取得し、カメラに保存したい場合は、プリセットマニュアルを使用します。

- 1 **WB** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して、ホワイトバランス表示を **PRE** に合わせる

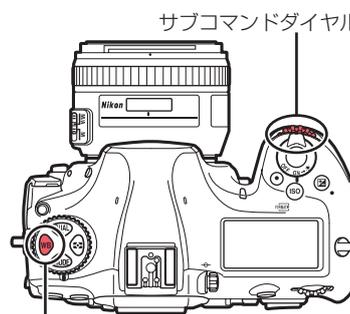


WB ボタン メインコマンドダイヤル



- 2 **WB** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

- プリセットマニュアルデータの保存場所を d-1 ~ d-6 の中から選びます。



WB ボタン



- 3 いったん **WB** ボタンから指を放し、再度 **WB** ボタンを押し続けてプリセットマニュアル取得モードにする

- 画像モニターに **PRE** が点滅します。
- フォーカスポイントの代わりに黄色の □ が表示されます。



- 4 **PRE** の点滅中にマルチセレクターを操作して、□ を被写体の白またはグレーの部分に重ねる

- **Q** ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、□ で選んだ部分を細部まで確認できます。
- タッチ操作でもプリセットマニュアルデータを取得できます。画像モニター上で被写体の白またはグレーの部分タッチすると、□ が移動してデータを取得します。タッチで取得した場合は、手順 6 に進んでください。



- 5 マルチセレクターの中央ボタンを押すか、シャッターボタンを全押しして、プリセットマニュアルデータを取得する



- 6 **WB** ボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

## 画質に関する設定

### ピクチャーコントロール

被写体や撮影シーンに合わせてピクチャーコントロールを設定します。[静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影時と同じ設定になります。動画とピクチャーコントロールの [フラット] を組み合わせた場合、動画のポストプロダクション時に豊富な情報を持つ素材映像として非常に有効です。ハイライト部の情報をしっかり確保したい場合には、ハイライト重点測光を併用することで被写体のハイライト部分の白とびを抑えることができます。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	●

### ■ ピクチャーコントロールの設定方法

#### 1 動画ライブビュー中に ( / ? ) ボタンを押す

- ピクチャーコントロールの一覧画面が表示されます。



#### 2 で設定したいピクチャーコントロールを選んで ボタンを押す

- 選んだ設定によって、画像モニターに表示される画像の色味などが変更され、ピクチャーコントロールの効果をすぐに確認できます。
- 設定が変更され、撮影画面に戻ります。



 オート	[スタンダード] をもとに、色合いや階調をカメラが自動的に調整します。 ● 人物を撮影するシーンでは、[スタンダード] に比べて人物の肌を柔らかく表現した画像になります。 ● 屋外のシーンでは、[スタンダード] に比べて青空や草木などの色が鮮やかな画像になります。
 スタンダード	鮮やかでバランスの取れた標準的な画像になります。 ● ほとんどの撮影状況に適しています。
 ニュートラル	素材性を重視した自然な画像になります。 ● 撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
 ビビッド	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 ● 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
 モノクローム	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
 ポートレート	人物の肌がなめらかで自然な画像になります。
 風景	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
 フラット	シャドウ部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。 ● 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。

## 画質に関する設定

## ■ ピクチャーコントロールの調整方法

- 1 動画ライブビュー中に **ピクチャーコントロール** (ピク/? ) ボタンを押す
- 設定項目が表示されます。



- 2 調整したいピクチャーコントロールを選んで、マルチセレクターの **ピクチャーコントロール** の **ピクチャーコントロール** を押す
- ピクチャーコントロールの調整画面が表示されます。



- 3 ピクチャーコントロールを調整する
- **ピクチャーコントロール** または **ピクチャーコントロール** で調整する項目を選びます。 **ピクチャーコントロール** または **ピクチャーコントロール** を押すと 1 ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと 0.25 ステップ刻みで値を設定します。
  - 画像モニターの **ピクチャーコントロール** または **ピクチャーコントロール** を押すと 1 ステップ刻みで、 **ピクチャーコントロール** または **ピクチャーコントロール** を押すと 0.25 ステップ刻みで値を設定できます。
  - 設定できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
  - **クイック調整** を選ぶと、各項目のレベルを自動的に調整します。
  - **リセット** (FORMAT) ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。



- 4 **ピクチャーコントロール** ボタンを押して設定する

**ピクチャーコントロール** を調整した場合の表示について  
ピクチャーコントロールを調整すると、アイコンの末尾にアスタリスク (＊) が表示されます。



## ■ レベル調整の設定項目

クイック調整	レベル調整の設定項目	
クイック調整	輪郭強調、コントラスト、色の濃さ(彩度)のレベルを自動的に調整します。	
手動調整	輪郭強調	輪郭の強弱を調整できます。[A] (オート) を選ぶと、自動で調整します。
	コントラスト	画像のコントラストを調整できます。[A] (オート) を選ぶと、自動で調整します。
	明るさ	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。
	色の濃さ(彩度)	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整できます。[A] (オート) を選ぶと、自動で調整します。
	色合い(色相)	画像の色合いを調整できます。
	フィルター効果	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。
調色	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。	

## 画質に関する設定

## ✔ [A オート] を選んでいる場合

- [A オート] を選択している場合、オートの調整レベルを [A - 2] ~ [A + 2] から選ぶことができます。
- サブコマンドダイヤルを回しても値は設定できません。



## ✔ [輪郭強調]、[コントラスト]、[色の濃さ (彩度)] の [A] (オート) についてのご注意

- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。
- 十分な効果を得るには、G タイプ、E タイプまたは D タイプのレンズをお使いになることをおすすめします。

## ✔ [明瞭度] について

明瞭度の設定は、動画には反映されません。

## ✔ ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される ▲ マークは、調整する前の値を示しています。前回調整した値を参考にして調整するときに便利です。



## ✔ [モノクローム] の [フィルター効果] について

[フィルター効果] には、次のような効果があります。

Y (黄*)	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。
O (オレンジ*)	
R (赤*)	
G (緑*)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

## ✔ [モノクローム] の [調色] について

[調色] の項目 ([B&W] 以外) を選んでマルチセレクターの  を押すと、さらに色の濃淡を選べます。◀ または ▶ を押して選んでください。



## 画質に関する設定

## 高感度ノイズ低減

動画の撮影時に、ISO 感度が高くなるほど発生しやすいノイズ（ざらつき）を低減します。

i ボタン	—
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

動画撮影メニューの [高感度ノイズ低減] で設定できます。

- [しない] 以外に設定すると、全ての ISO 感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO 感度が高くなるほど効果的です。
- ノイズ低減の効果は、強い順に [強め]、[標準]、[弱め] になります。
- ノイズ低減の効果強くするにしたがって、被写体のエッジ部分が甘くなり、解像感が損なわれることがあります。
- [しない] に設定すると、ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は [弱め] に設定したときよりもさらに弱くなります。



## 画質に関する設定

### 撮像範囲設定

撮像範囲を変更できます。[FX] に設定した場合は FX ベースの（動画）フォーマットに、[DX] に設定した場合は DX ベースの（動画）フォーマットになります。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

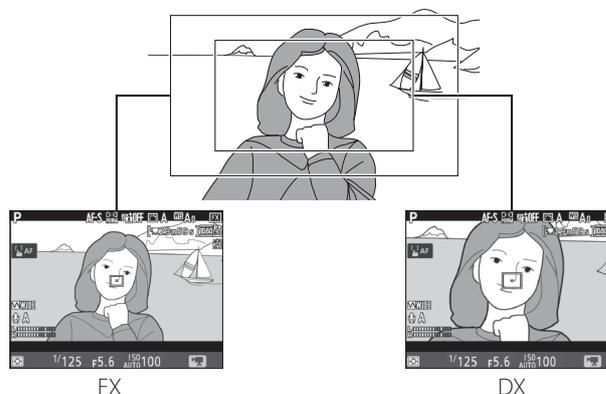
#### ■ 動画撮影時の撮像範囲について

動画撮影時の撮像範囲は図のようになります。

- 撮像範囲のサイズは、FX ベースの（動画）フォーマットと DX ベースの（動画）フォーマットでは異なります。それぞれの撮像範囲のサイズは次の通りです。

フォーマット	サイズ
FX ベースの（動画）フォーマット	約 35.9 × 20.2mm
DX ベースの（動画）フォーマット	約 23.5 × 13.2mm

- 動画撮影メニュー [撮像範囲] の [DX 自動切り換え] を [する] に設定して DX レンズを装着した場合は、DX ベースの（動画）フォーマットになります。
- 動画の画像サイズを 1920 × 1080 スローに設定した場合は、装着レンズや [撮像範囲設定] の設定にかかわらず、DX ベースの（動画）フォーマットで撮影します。



#### ■ 撮像範囲の設定方法

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、**⬆** **⬆** で [撮像範囲設定] を選んで **⬆** を押す

- 設定項目が表示されます。



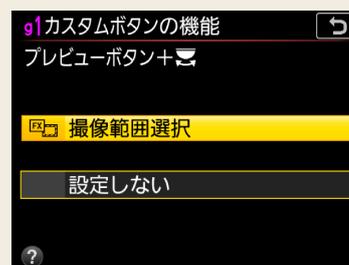
- 2 **⬆** **⬆** で設定したい撮像範囲を選んで **OK** ボタンを押す

- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



#### ! その他の設定方法について

- カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] (□35) で任意のボタンに [撮像範囲選択] を割り当てると、そのボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して撮像範囲を切り換えられます。



## 画質に関する設定

## 電子手ブレ補正

動画撮影時に電子手ブレ補正を行います。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、 で [電子手ブレ補正] を選んで  を押す
  - 設定項目が表示されます。



- 2  で設定したい内容を選んで  ボタンを押す
  - 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



**!** 電子手ブレ補正について

- 動画の画像サイズ (□□12) が 3840 × 2160 または 1920 × 1080 スローの場合、電子手ブレ補正は機能しません。
- 電子手ブレ補正は、[ピーキングの検出] (□□32) とは同時に使用できません。
- 電子手ブレ補正を [する] に設定すると、画角が小さくなるため少し拡大されます。
- 電子手ブレ補正を [する] に設定すると、周辺部にゆがみが生じることがあります。
- 電子手ブレ補正を [する] に設定し、カメラを左右または上下に振って構図を動かそうとした場合、動き始めの動画がわずかに遅れることがあります。

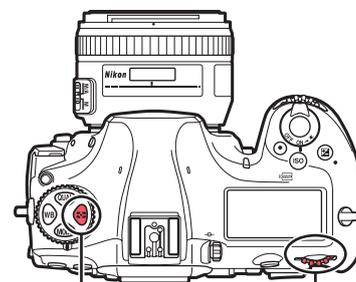
# 露出に関する設定

動画の露出に関する設定は次の通りです。

## 測光モード

 ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、測光モードを設定できます。

- 測光モードは、画像モニターと表示パネルに表示されます。



 ボタン メインコマンドダイヤル

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	—

 マルチパターン測光	ほとんどの撮影状況に対応できる測光モードです。画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
 中央部重点測光	画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。
 ハイライト重点測光	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適しています。

### 動画撮影時の測光モードについて

スポット測光は使用できません。

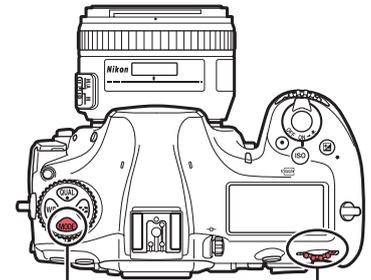
## 露出に関する設定

## 露出モード

MODE ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、露出モードを設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	—

- 露出モードは、画像モニターと表示パネルに表示されます。



MODE ボタン メインコマンドダイヤル

- 露出モード **P**、**S** で画像が明るくなりすぎたり、暗くなりすぎたりする場合は、ライブビューを終了してからもう一度ライブビューを開始するか、露出モードを **A** にして、絞りの調整を行ってください。
- 動画撮影時に絞り値、シャッタースピード、ISO 感度を設定できるかどうかは、露出モードによって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO 感度 <sup>※2</sup>
<b>P</b> 、 <b>S</b> <sup>※1</sup>	—	—	— <sup>※3</sup>
<b>A</b>	○	—	— <sup>※3</sup>
<b>M</b>	○	○	○ <sup>※4</sup>

※1 露出モードが **S** の場合は、**P** に設定したときと同じ露出制御になります。

※2 [電子手ブレ補正] が [する] のときに ISO 感度が高感度 (Hi 0.3 ~ Hi 2) になった場合は、ISO 25600 に制限されます。

※3 [ISO 感度設定] (□13) の [制御上限感度] で ISO 感度の上限を設定できます。

※4 [ISO 感度設定] の [M モード時の感度自動制御] を [する] に設定した場合、[制御上限感度] で ISO 感度の上限を設定できます。

#### ⚠ マニュアル露出での動画撮影について

露出モード **M** で動画撮影する場合、シャッタースピードを 1/25 ~ 1/8000 秒の範囲で設定できます (動画のフレームレート (□12) によって、低速側の制限が異なります)。

#### ⚠ パワー絞りについて

露出モード **M** または **A** で動画撮影する場合、マルチセレクターまたはカスタムボタンでパワー絞りを行うことができます (□34、35)。

## 露出に関する設定

### 露出補正

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。

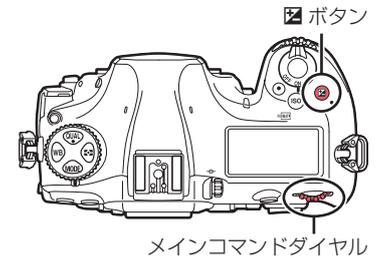
動画ライブビュー中に、**☒** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。

- 露出補正値は、画像モニターと表示パネルに表示されます。**☒** ボタンを押すと、設定した補正量を確認できます。



- 露出補正は、1/3 段ステップで± 3 段の範囲で設定できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正してください。
- 露出補正を解除するには、補正量を 0.0 にしてください。カメラの電源を OFF にしても、補正量の設定は解除されません。
- [マルチセレクターによる露出補正] を [有効] に設定すると、マルチセレクターで露出補正を行えます (☞34)。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	—



#### 🟡 露出モード M での露出補正について

露出モードが **M** のときは、露出のインジケータ表示が変わるだけで、設定したシャッタースピードと絞り値は変わりません。

## 露出に関する設定

## アクティブ D-ライティング

ハイライト部の白とびを抑えて暗部の黒つぶれを軽減する効果があり、見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、 で [アクティブ D-ライティング] を選んで  を押す
  - 設定項目が表示されます。



- 2  で設定したい内容を選んで  ボタンを押す
  - 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



#### ！ アクティブ D-ライティングについて

- 動画の画像サイズ (□12) が 3840 × 2160 または 1920 × 1080 スローの場合、アクティブ D-ライティングは機能しません。
- [ピーキングの検出] (□32) とは同時に使用できません。

## フリッカー低減

ライブビュー表示中や動画記録中に、蛍光灯や水銀灯などの光源下で画面に生じるちらつきや横縞（フリッカー現象）を低減できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

動画撮影メニューの [フリッカー低減] で設定できます。

- 通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ [オート] をお使いください。
- [オート] にしていてもフリッカー低減効果が得られない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じて、[50Hz] と [60Hz] から選びます。東日本など電源周波数が 50 Hz の地域では [50Hz] を選び、西日本など電源周波数が 60 Hz の地域では [60Hz] を選んでください。



#### ！ 【フリッカー低減】についてのご注意

- [オート] に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- 露出モードが **M** 以外の場合、設定したシャッタースピードが必ずしも反映されないため、フリッカー低減できるシャッタースピードに設定しても、フリッカー低減効果が得られないことがあります。そのような場合は、露出モードを **M** に設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。
  - 電源周波数が 50Hz の場合：1/100 秒、1/50 秒、1/25 秒
  - 電源周波数が 60Hz の場合：1/125 秒、1/60 秒、1/30 秒

# 録音に関する設定

動画音声の録音に関する設定は次の通りです。

## マイク感度

内蔵マイクまたは外部マイクの感度を調整できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、 で [マイク感度] を選んで  を押す

- インジケーターが表示されます。



- 2  でマイク感度を調整して **OK** ボタンを押す

- 1 ~ 20 の間で調整できます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。
- [マイク感度 オート] に設定すると、カメラが自動的にマイク感度を調整します。
- [録音しない] に設定すると、音声は記録しません。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



### ！ ニコン製の外部マイクについて

ニコン製の外部マイクには、次の2つがあります。

- **ステレオマイクロホン ME-1**：ステレオマイクロホン ME-1 を外部マイク入力端子に接続すると、ステレオ録音ができます。また、動画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音などが録音されるのを軽減できます。
- **ワイヤレスマイクロホン ME-W1**：Bluetooth 無線通信技術を搭載したワイヤレスマイクロホンです。カメラの動画撮影時に離れた場所の音声を収録できます。

## アッテネーター

[有効] を選ぶと、大音量の環境下で動画記録をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、 で [アッテネーター] を選んで  を押す

- 設定項目が表示されます。



- 2  で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



## 録音に関する設定

## 録音帯域

内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、  で [録音帯域] を選んで  を押す

- 設定項目が表示されます。



- 2   で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- [広帯域] は低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの録音など、幅広いシーンに適しています。
- [音声帯域] は主に人の声を録音したいときに適しています。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



## 風切り音低減

内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えるローカットフィルター機能を有効にするかどうかを設定できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、  で [風切り音低減] を選んで  を押す

- 設定項目が表示されます。



- 2   で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- [する] を選ぶと、ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。ただし、風切り音以外の音も聞こえにくくなる場合があります。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



 風切り音低減について

別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で [風切り音低減] を [する] に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

## 録音に関する設定

## ヘッドホン音量

ヘッドホン音量を調整できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、  で [ヘッドホン音量] を選んで  を押し
  - インジケーターが表示されます。



- 2   で設定したい音量を調整して  ボタンを押し
  - 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押ししてください。



**!** ヘッドホンについて

- 市販のヘッドホンヘッドホン端子に接続すると、音声はヘッドホンから再生されます。
- マイク感度を最大にして撮影した動画を再生すると、大音量で再生される場合がありますので、ヘッドホン使用時は特にご注意ください。

# フォーカスに関する設定

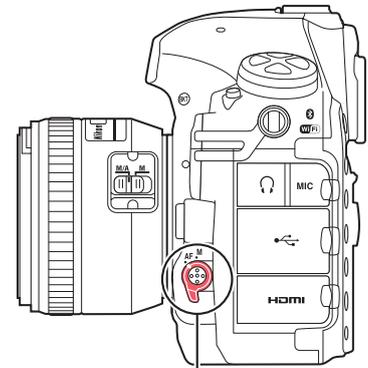
動画のフォーカスに関する設定は次の通りです。

## フォーカスモード

オートフォーカスまたはマニュアルフォーカスの設定はフォーカスモードセクターで行えます。

フォーカスモードセクターを **AF** に合わせるとオートフォーカスに、**M** に合わせるとマニュアルフォーカスになります。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	—



フォーカスモードセクター

## AF モード

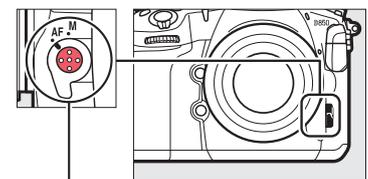
AF モードの設定は AF モードボタンとメインコマンドダイヤルで行えます。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	—

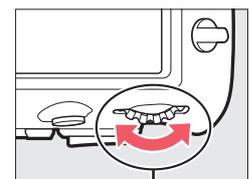
### ■ AF モードの設定方法

動画ライブビュー中に、**AF** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。

- AF モードは、画像モニターに表示されます。



AF モードボタン



メインコマンドダイヤル

### ■ AF モードについて

設定できる AF モードは次のとおりです。

<b>AF-S シングル AF サーボ</b>	<p>静止している被写体の撮影に適しています。画像モニターをタッチすると、タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シャッターボタンを半押しまたは <b>AF-ON</b> ボタンを押してもピント合わせを行えます。</li> </ul>
<b>AF-F 常時 AF サーボ</b>	<p>動いている被写体の撮影に適しています。画像モニターをタッチするかシャッターボタンを半押しするまで、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。画像モニターをタッチしている間はフォーカスがロックされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った時点でフォーカスがロックされます。</li> <li>● <b>AF-ON</b> ボタンを押してもピント合わせを行えます。</li> </ul>

## フォーカスに関する設定

### AF エリアモード

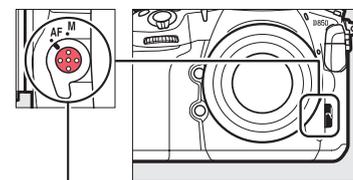
AF エリアモードの設定は AF モードボタンとサブコマンドダイヤルで行えます。

i ボタン	—
各種ボタン	●
動画撮影メニュー	—

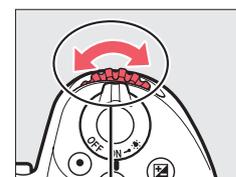
#### ■ AF エリアモードの設定方法

動画ライブビュー中に、**AF** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回します。

- AF エリアモードは、画像モニターに表示されます。



AF モードボタン



サブコマンドダイヤル

#### ■ AF エリアモードについて

設定できる AF エリアモードは次のとおりです。

顔認識 AF	カメラが人物の顔を自動的に認識し、フォーカスポイントが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。このとき、画像モニターをタッチすると、タッチした位置に最も近い顔にピント合わせを行います。途中で顔が後ろを向くなどしてカメラが顔を認識できなくなると、枠が消えます。 ● 顔を認識している場合にマルチセレクターで二重枠を移動して他の顔を選ぶこともできます。
ワイドエリア AF	風景などを手持ちで撮影する場合に適しています。フォーカスポイントは、タッチ操作またはマルチセレクターで任意の位置に移動できます。 <b>中央</b> ボタンを押すと、フォーカスポイントは中央に移動します。
ノーマルエリア AF	画面の任意の位置にピンポイントでピントを合わせたい場合に適しています。フォーカスポイントは、タッチ操作またはマルチセレクターで任意の位置に移動できます。 <b>中央</b> ボタンを押すと、フォーカスポイントは中央に移動します。三脚の使用をおすすめします。
ピンポイント AF	ノーマルエリア AF よりも小さいフォーカスポイントを使って、ピンポイントでピントを合わせることができます。フォーカスポイントは、タッチ操作またはマルチセレクターで任意の位置に移動できます。 <b>中央</b> ボタンを押すと、フォーカスポイントは中央に移動します。三脚の使用をおすすめします。
ターゲット追尾 AF	指定した被写体に追尾させてフォーカスポイントを動かしたい場合に適しています。画像モニターをタッチすると、タッチした位置の被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。 ● ターゲット追尾中に画像モニターをタッチすると、現在追尾中のフォーカスポイントの位置でピント合わせを行います。 ● フォーカスポイントを被写体に重ねて <b>中央</b> ボタンを押しても被写体を追尾できます。 ● <b>中央</b> ボタンを押すと、追尾を終了します。

#### 🚨 ターゲット追尾 AF についてのご注意

次のような場合は、追尾動作が正常に行われなことがあるので、ご注意ください。

- 被写体の色、明るさが背景と似ている場合
- 被写体の大きさ、色、明るさが著しく変わる場合
- 被写体が大きすぎる / 小さすぎる場合
- 被写体が明るすぎる / 暗すぎる場合
- 被写体の動きが速すぎる場合
- 被写体が隠れたり、画面から外れた場合

## フォーカスに関する設定

🚨 **ライブビュー時のオートフォーカスについてのご注意**

- ライブビュー時のオートフォーカスは、通常のオートフォーカスより、ピント合わせに時間がかかります。また、次の被写体はピントが合わない場合がありますので、ご注意ください。
  - 画面の長辺側と平行な線の被写体
  - 明暗差の少ない被写体
  - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
  - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
  - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
  - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
  - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
  - 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）
  - 動く被写体・オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- ピントが合わなくてもピント表示（緑枠）が点灯する場合があります。
- AF-S や AF-P 以外のレンズやテレコンバーターを使用した撮影では、十分なピント精度が出ない場合があります。

🚨 **ライブビュー時の拡大表示**

- ライブビュー中に  ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心に拡大表示します（最大約 16 倍）
  -  ボタンを押すごとに拡大率が上がります。
  -  ボタンを押すと拡大率が下がります。
- カスタムメニュー f2 [中央ボタンの機能] の [ライブビュー] を [拡大画面との切り換え] に設定すると、ライブビュー中に中央ボタンを押してフォーカス部分を拡大することができます。
  - 拡大率は [低倍率 (50%)], [等倍 (100%)], [高倍率 (200%)] から選べます。
  - フォーカスポイントを中心に、設定した拡大率で拡大表示します。
  - もう一度中央ボタンを押すと、元の表示に戻ります。
  - AF エリアモードでターゲット追尾が選択されている場合は、被写体にフォーカスポイントが重なった状態で中央ボタンを押すと、その被写体に AF のターゲットが固定されます。フォーカス部分の拡大表示は  ボタンで行ってください。
- 拡大表示中は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウ（グレーの枠）が表示されます。
- 拡大表示中は、マルチセレクターを操作すると、見たい部分に移動できます。
- 動画記録中はフォーカス部分の拡大表示はできません。



## フォーカスに関する設定

## ピーキングの検出

マニュアルフォーカスで動画撮影するときに、ピントが合っている部分の輪郭が色付きで表示されます。現在どこにピントが合っているのかを簡単に確認できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—



- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、**⏪**/**⏩** で [ピーキングの検出] を選んで **⏩** を押す
  - 設定項目が表示されます。



- 2 **⏪**/**⏩** で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す
  - ピーキングの感度を [3 (高感度)]、[2 (標準)]、[1 (低感度)]、または [しない] から選びます。感度を高くするとピントが合っていると判断される範囲が広くなり、感度を低くすると範囲が狭くなります。
  - 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



**!** ピーキングの検出について

- カスタムメニュー d8 [ピーキング表示色] でピーキングの色を [赤]、[黄]、[青] または [白] から変更できます。
- 動画の画像サイズ (☐12) が 3840 × 2160 または 1920 × 1080 スローの場合、ハイライト表示が有効になっている場合はピーキングの検出はできません。
- [アクティブ D-ライティング] (☐25)、[電子手ブレ補正] (☐21) とは同時に使用できません。

# 保存に関する設定

撮影した動画の保存に関する設定は次の通りです。

## 動画記録先

メモリーカードを2枚使用している場合に動画を記録するスロットを設定できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、  で「動画記録先」を選んで  を押す

- 設定項目が表示されます。



- 2   で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- それぞれのカードで動画を記録できる残り時間が表示されます。
- 選んだファイル記録先のメモリーカードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押ししてください。



### その他の設定方法について

動画撮影メニュー「動画記録先」でも設定できます。

## 動画記録ファイル形式

動画のファイル形式を選べます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	●

動画撮影メニューの「動画記録ファイル形式」で設定できます。MOVとMP4から選べます。なお、動画記録ファイル形式による画質の違いはありません。

MOV	Apple社のソフトウェア QuickTime で使用されている動画のファイル形式。インターネット上での動画配信で使われることが多い形式です。
MP4	ISO/IECの規格のファイル形式で、さまざまな携帯電話やスマートフォンなどで対応しています。



# 操作や表示に関する設定

動画撮影時の操作や画像モニターの表示に関する設定は次の通りです。

## マルチセレクターによるパワー絞り

マルチセレクターによるパワー絞りを有効にするかどうかを設定できます。マルチセレクターを押して絞りを変更するため、コマンドダイヤルを回すクリック音が記録中の動画に入りません。絞りの動作もスムーズで、絞り値の変更による被写体の写り方の変化も滑らかです。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、**⊕/⊖** で [マルチセレクターによるパワー絞り] を選んで **⊕** を押す

- 設定項目が表示されます。



- 2 **⊕/⊖** で設定したい内容を選んで **⊕** ボタンを押す

- [有効] に設定すると、**⊕** を押ししている間、開放絞り側に絞りが動きます。また、**⊖** を押ししている間、最小絞り側に絞りが動きます。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。

### ✓ パワー絞りについて

- 露出モード **A** または **M** のときのみ動作します。
- 静止画撮影情報の表示中は、パワー絞りは動作しません。
- **⊕** マークが画像モニターに表示されているときは、パワー絞りは動作しません。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。
- パワー絞りはカスタムメニュー **g1** [カスタムボタンの機能] (p.35) でカスタムボタンに割り当てることもできます。



## マルチセレクターによる露出補正

マルチセレクターによる露出補正を有効にするかどうかを設定できます。マルチセレクターを押して露出補正の設定を変更するため、コマンドダイヤルを回すクリック音が記録中の動画に入りません。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、**⊕/⊖** で [マルチセレクターによる露出補正] を選んで **⊕** を押す

- 設定項目が表示されます。



- 2 **⊕/⊖** で設定したい内容を選んで **⊕** ボタンを押す

- [有効] に設定すると、**⊕** または **⊖** を押して露出補正を行えます。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



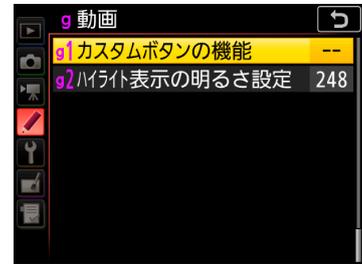
## 操作や表示に関する設定

## カスタムボタンの機能

このカメラに装備されている Fn (ファンクション) などのボタンは、カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] で自分の好みの機能を割り当てることが可能です。

i ボタン	—
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

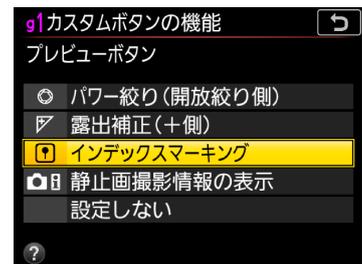
- 1 カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] を選んで ボタンを押す
- 機能を割り当てられるボタンを選ぶ画面が表示されます。



- 2 で機能を割り当てたいボタンを選んで ボタンを押す



- 3 で割り当てたい機能を選んで ボタンを押す



## ■ ボタンを押したときの機能

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。



Pv	プレビューボタン
Fn1	Fn1 ボタン
Fn2	Fn2 ボタン
	サブセレクター中央ボタン
	シャッターボタン

- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

	Pv	Fn1	Fn2		
パワー絞り (開放絞り側)	●	—	—	—	—
パワー絞り (最小絞り側)	—	●	—	—	—
露出補正 (+側)	●	—	—	—	—
露出補正 (-側)	—	●	—	—	—
インデックスマーキング	●	●	●	●	—
静止画撮影情報の表示	●	●	●	●	—
AE-L/AF-L	—	—	—	●	—

	Pv	Fn1	Fn2		
AE-L	—	—	—	●	—
AE-L (ホールド)	—	—	—	●	—
AF-L	—	—	—	●	—
静止画撮影	—	—	—	—	●
動画撮影	—	—	—	—	●
設定しない	●	●	●	●	—

## 操作や表示に関する設定

- 各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

 パワー絞り（開放絞り側）	Pv ボタンを押している間、開放絞り側に絞りが動きます。カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] の [Fn1 ボタン] が [パワー絞り（最小絞り側）] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
 パワー絞り（最小絞り側）	Fn1 ボタンを押している間、最小絞り側に絞りが動きます。カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] の [プレビューボタン] が [パワー絞り（開放絞り側）] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
 露出補正（+側）	Pv ボタンを押している間、+側に露出補正を行います。カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] の [Fn1 ボタン] が [露出補正（-側）] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
 露出補正（-側）	Fn1 ボタンを押している間、-側に露出補正を行います。カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] の [プレビューボタン] が [露出補正（+側）] のときは、自動的にこの項目が選ばれます。
 インデックスマーキング	動画記録中にボタンを押すと、撮影中の動画にインデックスマークを付けることができます。インデックスマークを付けると、動画の再生時や編集時に目的の場所へ素早く移動できます。
 静止画撮影情報の表示	ボタンを押すと、動画撮影中（ライブビュー時および動画記録時）に静止画を撮影する場合の撮影情報が表示されます。もう一度ボタンを押すと元の画面に戻ります。
 AE-L/AF-L	ボタンを押している間、AEロックとフォーカスロックを同時に行います。
 AE-L	ボタンを押している間、AEロックを行います。
 AE-L（ホールド）	ボタンを1回押すとAEロックを行い、AEロック状態が維持されます。シャッターをきってもAEロックは解除されません。ただし、もう一度ボタンを押すか、半押しタイマーがオフになると、AEロックを解除します。
 AF-L	ボタンを押している間、フォーカスロックを行います。
 静止画撮影	シャッターボタンを全押しすると、アスペクト比 16:9 の静止画を撮影します（撮影中の動画は終了します）。
 動画撮影	シャッターボタンを半押しすると、ライブビューを開始します。フォーカスモードセレクターが AF の場合、ライブビュー中にシャッターボタンを半押しするとピント合わせが行われます。また、全押しすると、動画記録を開始します。もう一度シャッターボタンを押すと、動画記録を終了します。 ● [動画撮影] に設定すると、動画記録以外にシャッターボタンを使う操作は行えません。 ● ライブビューを終了するには、  ボタンを押してください。 ● 別売のワイヤレスリモートコントローラーまたはリモートコード使用時には、ワイヤレスリモートコントローラーやリモートコードのシャッターボタンを半押ししてライブビューを開始したり、全押しして動画撮影の開始と終了を行えます。
設定しない	ボタンは機能しません。

### ✔ パワー絞りについて

- 露出モード **A** または **M** のときのみ動作します。
- 静止画撮影情報の表示中は、パワー絞りは動作しません。
-  マークが画像モニターに表示されているときは、パワー絞りは動作しません。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。

### ✔ [シャッターボタン] を [動画撮影] に設定した場合のご注意

[シャッターボタン] が [動画撮影] の場合、インターバルタイマー撮影はできません。

## 操作や表示に関する設定

## ■ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能

- 機能を割り当てられるボタンは次の通りです。



	プレビューボタン + ☺
	Fn1 ボタン + ☺
	サブセレクター中央 + ☺

- ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回したときの機能は次の通りです。全てのボタンで同様です。

撮像範囲選択	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、動画撮影時の撮像範囲 (□□20) の設定を切り換えられます。動画記録中は、撮像範囲の切り換えはできません。
設定しない	ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても機能しません。

**⚠ 押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作が併用できない場合**

[プレビューボタン] と [プレビューボタン + ☺] のように、同じボタンに押し時の動作とコマンドダイヤル併用時の動作を設定できるボタンでは、両方の機能を同時に設定できない場合があります。その場合は後に設定された機能が有効になり、先に設定していた内容が [設定しない] に変更されます。

## 操作や表示に関する設定

### ハイライト表示

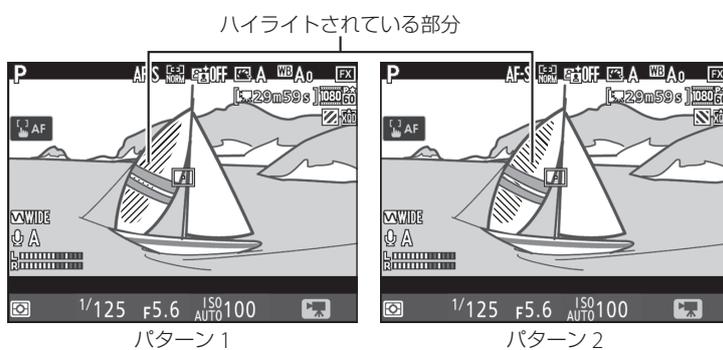
動画撮影時にハイライト部分（非常に明るい部分）を斜線で表示できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、 で [ハイライト表示] を選んで  を押す
  - 設定項目が表示されます。



- 2  で設定したい内容を選んで  ボタンを押す
  - [パターン 1] と [パターン 2] は斜線の向きが異なります。



- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。

#### ✓ ハイライト表示について

- どの程度の明るさをハイライトとして扱うかをカスタムメニュー g2 [ハイライト表示の明るさ設定] で設定できます。[180] から [255] まで 8 段階で設定でき、値が小さいほど暗い部分もハイライトとして表示します。[255] を選ぶと白とびする部分だけがハイライトされます。
- ハイライト表示が有効になっている場合、[ピーキングの検出] () は無効になります。

## 操作や表示に関する設定

## モニターの明るさ

動画撮影時の画像モニターの明るさを調整できます。

i ボタン	●
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

- 1 動画ライブビュー中に **i** ボタンを押し、 で [モニターの明るさ] を選んで  を押す
  - インジケーターが表示されます。



- 2  で設定したい明るさに調整して  ボタンを押す
  - 画像モニターの明るさを調整すると、ライブビュー中の表示に反映されますが、撮影した画像や画像再生時の表示、メニュー表示などには反映されません。
  - 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



### ⚠ 画像再生時やメニュー表示時の明るさについて

画像再生時やメニュー表示時などの画像モニターの明るさは、セットアップメニューの [モニターの明るさ] で設定してください。

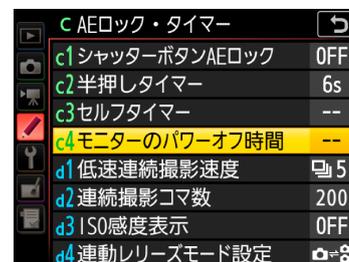
## 操作や表示に関する設定

### モニターのパワーオフ時間

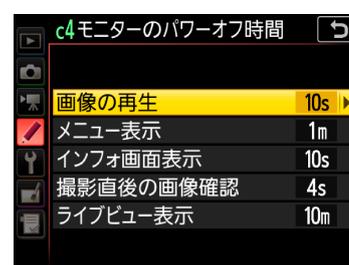
画像モニターが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。ライブビュー中に液晶モニターが消灯するのを避ける場合、[ライブビュー表示] を [制限なし] に設定するのがおすすです。

i ボタン	—
各種ボタン	—
動画撮影メニュー	—

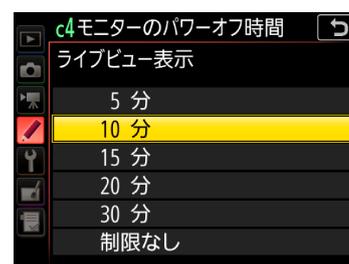
- 1 カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] を選んで  ボタンを押す
  - 機能を割り当てられるボタンを選び画面が表示されます。



- 2   で設定したい項目を選んで  を押す
  - [画像の再生]、[メニュー表示]、[インフォ画面表示]、[撮影直後の画像確認]、[ライブビュー表示] で画像モニターが自動的に消灯するまでの時間を個別に設定できます。



- 3   で設定したい時間を選んで  ボタンを押す
  - 画像モニターの表示時間を延長すると、バッテリーの消耗が早くなります。



# タイムラプス動画を作成する

設定した撮影間隔で自動的に撮影を行い、撮影した静止画をつないだものをタイムラプス動画と呼びます。ビデオのコマ数を少なくした早送りのような動画を撮影できます。

タイムラプス動画を作成する方法としては、動画撮影メニュー [タイムラプス動画] と静止画撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] を使用する 2 通りがあります。設定した撮影間隔と撮影回数で自動的に撮影するという点はどちらも同じですが、次の点が大きく異なります。

	タイムラプス動画	インターバルタイマー撮影
機能の概要	設定した撮影間隔で自動的に静止画撮影（インターバルタイマー撮影）を行い、カメラ内で自動的に動画ファイルを作成します。	設定した撮影間隔で自動的に静止画撮影（インターバルタイマー撮影）を行います。タイムラプス動画として作成するには、静止画を動画編集ソフトなどに素材として取り込んで編集を行う必要があります。
画像サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大 3840 × 2160 ピクセル。</li> <li>動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] (□12) と同じ画像サイズを設定できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大 8256 × 5504 ピクセル。</li> <li>静止画撮影時の設定と同じ画像サイズで撮影を行います。</li> </ul>

## 動画撮影メニュー [タイムラプス動画] を使用した撮影の手順

タイムラプス動画は次の手順で撮影します。

### ⚠ タイムラプス動画撮影を開始する前に

- タイムラプス動画撮影で撮影される静止画の画角は、動画撮影時と同じになります。構図を確認してから撮影することをおすすめします。構図を確認するには、[タイムラプス動画] 画面で設定中に  (⚡) ボタンを押します。もう一度  ボタンを押すと元の画面に戻ります。
- 試し撮りをして、画像を再生して確認することをおすすめします。
- タイムラプス動画撮影時は、カメラを三脚で固定し、レンズの VR (手ブレ補正) 機能を無効にすることをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、別売のパワーコネクタと AC アダプター、または十分に充電されたバッテリーをお使いください。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じることをおすすめします。

### ⚠ タイムラプス動画の記録先について

タイムラプス動画は、動画撮影メニューの [動画記録先] (□33) で選んだスロットに記録されます。

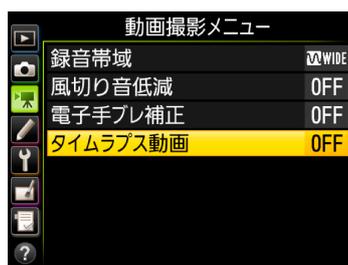
### ⚠ タイムラプス動画の制限について

次の場合など、タイムラプス動画とは同時に使用できない機能や設定があります。

- ライブビュー撮影
- 動画撮影
- 長時間露出 (バルブまたはタイム) 撮影
- セルフタイマー撮影
- オートブラケティング撮影
- HDR (ハイダイナミックレンジ)
- 多重露出撮影
- インターバルタイマー撮影
- フォーカスシフト撮影

## 1 動画撮影メニューの [タイムラプス動画] を選ぶ

- マルチセレクターの  を押すと、[タイムラプス動画] 画面が表示されます。



## タイムラプス動画を作成する

## 2 タイムラプス動画の設定をする

## 撮影間隔（インターバル）を設定する

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードよりも長い時間を設定してください。



「撮影間隔」を選んで  $\odot$  を押す



撮影間隔（分、秒）を設定して  $\odot$  ボタンを押す

## 撮影時間を設定する

- 撮影時間は、最長で7時間59分まで設定できます。



「撮影時間」を選んで  $\odot$  を押す



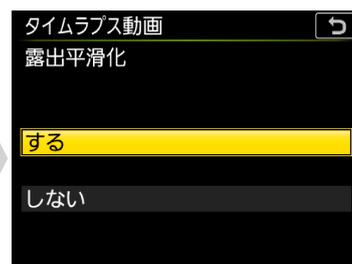
撮影時間（時、分）を設定して、 $\odot$  ボタンを押す

## 露出平滑化をするかどうかを選ぶ

- 「[する]」を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。ただし、輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。
- 露出モード M で静止画撮影メニュー「[ISO 感度設定]」の「[感度自動制御]」が「[しない]」の場合、露出の平滑化は行いません。



「露出平滑化」を選んで  $\odot$  を押す



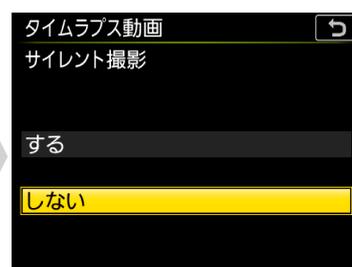
露出平滑化をするかどうかを選んで  $\odot$  ボタンを押す

## サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ

- 「[する]」を選ぶと、メカシャッターの耐久性を気にすることなく、シャッター音を出さずに撮影できます。
- 「[サイレント撮影]」を「[する]」にした場合、撮影開始時と終了時にミラーアップ/ミラーダウンの音とシャッター音がします。
- 「[サイレント撮影]」を「[する]」に設定すると、使用できない機能や設定があります。
  - ISO 感度 (□13) の Hi 0.3 ~ Hi 2
  - フラッシュ撮影
  - 露出ディレイモード
  - 長秒時ノイズ低減
  - フリッカー低減 (□25)



「サイレント撮影」を選んで  $\odot$  を押す

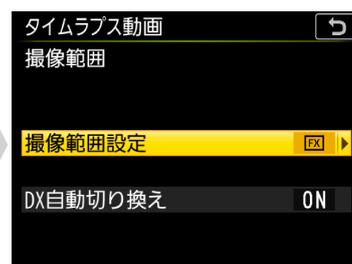


サイレント撮影をするかどうかを選んで  $\odot$  ボタンを押す

## 撮像範囲を設定する



「撮像範囲」を選んで  $\odot$  を押す



撮像範囲を選んで  $\odot$  ボタンを押す

## タイムラプス動画を作成する

## 画像サイズ / フレームレートを設定する



「画像サイズ / フレームレート」を選んで  $\odot$  を押す



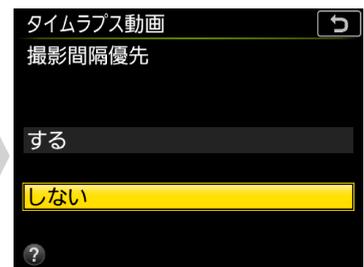
動画の画像サイズ / フレームレートをを選んで  $\odot$  ボタンを押す

## 露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうか選ぶ

- 「撮影間隔優先」が「する」のときは、被写体にピントが合わないなど撮影できない状態になると、自動的にタイムラプス動画撮影を終了します。



「画像サイズ / フレームレート」を選んで  $\odot$  を押す



撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選んで  $\odot$  ボタンを押す

3 「撮影開始」を選んで  $\odot$  ボタンを押す

- 約 3 秒後に撮影を開始します。
- 手順 2 で設定した「撮影時間」内に、設定した「撮影間隔」で撮影を繰り返します。
- 設定した撮影時間が経過すると、撮影を終了してタイムラプス動画ファイルを作成して保存します。



## ✔ 測光低輝度限界拡張について

「露出平滑化」と「サイレント撮影」の両方を「する」にすると、測光の低輝度限界を、通常撮影時の -3EV を大幅に超える暗さまで拡張できます。露出モード M では不可能な、明るさが大きく変化する「星空から夜明け」や「夕暮れから星空」の移り変わりも、露出モード A で適正露出を保ちながらひと続きで撮影できます。

## ✔ タイムラプス動画撮影の待機状態について

- タイムラプス動画撮影の待機状態では、表示パネルに **INTVL** マークが点滅し、タイムラプス動画撮影中マークが点灯します。撮影直前になるとシャッタースピード表示部にその回の残りの撮影時間を表示します（時間、分）。
- 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、残りの撮影時間を表示します。
- 待機状態で MENU ボタンを押すと、画像モニターの「タイムラプス動画」画面に撮影間隔と撮影時間、露出平滑化などの設定が表示されます。また、「終了」を選んでタイムラプス動画撮影を終了できます。



## ✔ タイムラプス動画の記録コマ数（撮影回数）と動画の長さについて

- 手順 2 で設定する撮影時間を撮影間隔で割った数（小数点以下切り上げ）が、記録コマ数（撮影回数）になります。
- タイムラプス動画で記録される動画の長さは、上記の記録コマ数 ÷ 「画像サイズ / フレームレート」で選んだフレームレートで計算できます（例えば、「画像サイズ / フレームレート」が「1920 × 1080 24p」のときに記録コマ数が 48 コマの場合、記録される動画の長さは約 2 秒になります）。
- 最長 20 分の動画を記録できます。

## タイムラプス動画を作成する

### ■ タイムラプス動画撮影を途中で終了するには

- タイムラプス動画撮影を途中で終了するには、次の操作を行います。
  - 撮影待機中に動画撮影メニュー [タイムラプス動画] で [終了] を選び、**Ⓜ** ボタンを押す
  - 次の撮影までの間に **Ⓜ** ボタンを押す
- タイムラプス動画撮影を終了すると、終了時点までの動画がメモリーカードに記録され、通常の撮影待機状態に戻ります。

#### 🔔 タイムラプス動画撮影についてのご注意

- タイムラプス動画には音声は記録されません。
- 実際のタイムラプス動画撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間が含まれます。そのため、設定した撮影間隔で撮影できないことがあります。
- 次のような場合には、タイムラプス動画撮影を開始できません。
  - 設定した [撮影時間] が [撮影間隔] より短い場合
  - [撮影時間] または [撮影間隔] が [00:00'00"] の場合
  - メモリーカードのメモリー残量がない場合
- オートフォーカスで被写体にピントが合わないとき、[撮影間隔優先] が [する] の場合は撮影を終了します。[しない] の場合はその回の撮影をキャンセルし、次の回から撮影を再開します（撮影ごとにピントを合わせます）。
- タイムラプス動画撮影中は、**▶** ボタンを押しても画像の再生はできません。MENU ボタンを押すと [タイムラプス動画] 画面が表示され、その他のメニューは選択できません。
- タイムラプス動画を撮影する場合、ホワイトバランスを AUTO (オート) または **☀A** (自然光オート) 以外に設定すると色みを固定することができます。
- タイムラプス動画撮影中は、カスタムメニュー c2 [半押しタイマー] の設定にかかわらず、半押しタイマーはオフになりません。
- シャッターボタンを全押しすると、タイムラプス動画撮影を終了して静止画を撮影します。
- タイムラプス動画撮影中にカメラの設定を変更したり、カメラの操作を行ったり、HDMI ケーブルを接続すると、撮影が終了することがあります。その場合はその時点までの動画を記録してタイムラプス動画撮影を終了します。
- 次の場合は動画を記録せずに、タイムラプス動画撮影が終了します（タイムラプス動画撮影終了時の電子音は鳴りません）。
  - バッテリーや AC アダプターを取り外したとき
  - メモリーカードを取り出したとき

#### 🔔 撮影直後の画像確認について

タイムラプス動画撮影中は、**▶** ボタンで画像を表示することはできません。ただし、再生メニューの [撮影直後の画像確認] を [する] にすると、撮影のたびに自動的に画像が数秒間画像モニターに表示されます（表示だけを行い、通常の再生時の操作は無効になります）。

## タイムラプス動画を作成する

## 静止画撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] を使用した撮影の手順

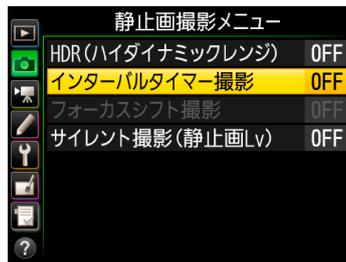
インターバルタイマー撮影をするときは、リリースモードを 以外に設定してください。

### 🔔 インターバルタイマー撮影を開始する前に

- 試し撮りをするをおすすめします。
- あらかじめセットアップメニューの [地域と日時] で日時が正確に設定されていることを確認してください。
- インターバルタイマー撮影時は、カメラを三脚で固定し、レンズの VR (手ブレ補正) 機能を無効にすることをおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリー、または別売のパワーコネクタと AC アダプターをお使いください。
- ファインダーから顔を離して撮影するときは、ファインダーからの光が適正露出や画像に影響を与えることを防ぐため、シャッターボタンを押す前にアイピースシャッターレバーを回してアイピースシャッターを閉じるをおすすめします。

## 1 静止画撮影メニューの [インターバルタイマー撮影] を選ぶ

- マルチセレクターの を押すと、インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



## 2 インターバルタイマー撮影の設定をする 開始方法を選ぶ

- インターバルタイマー撮影をすぐに開始する場合は、[即時] を選びます。
- インターバルタイマー撮影の開始日時を設定する場合は、[日時指定] を選びます。表示される画面で開始日時を設定して ボタンを押します。



[開始日時の設定] を選んで を押す



開始方法を選んで ボタンを押す

### 撮影間隔 (インターバル) を設定する



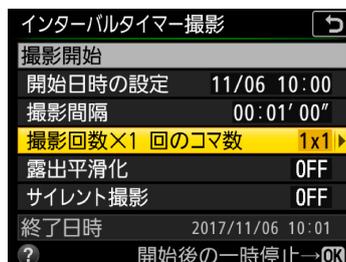
[撮影間隔] を選んで を押す



撮影間隔 (分、秒) を設定して ボタンを押す

### 撮影回数と 1 回のコマ数を設定する

- リリースモードが S の場合、撮影コマ数を 2 コマ以上に設定すると、カスタムメニュー d1 [低速連続撮影速度] で設定された速度で撮影します。



[撮影回数 × 1 回のコマ数] を選んで を押す

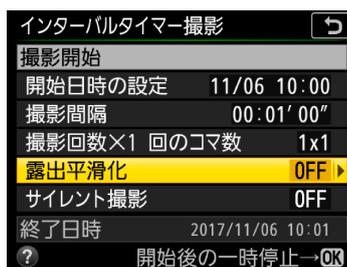


撮影回数と 1 回で撮影するコマ数を設定して、 ボタンを押す

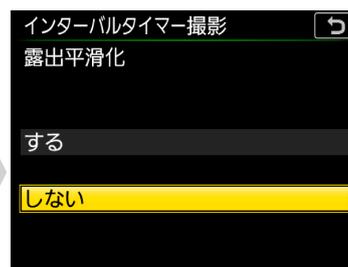
## タイムラプス動画を作成する

### 露出平滑化をするかどうかを選ぶ

- [する] を選ぶと、明るさの変化がなめらかになり、より自然な動画を記録します。ただし、輝度の変化が大きい被写体を撮影するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合は撮影間隔を短くすることをおすすめします。
- 露出モード M で静止画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [感度自動制御] が [しない] の場合、露出の平滑化は行いません。



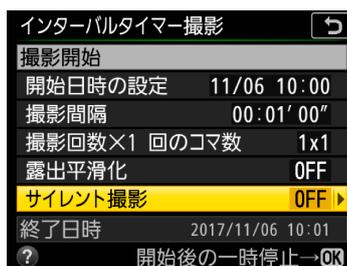
[露出平滑化] を選んで **▶** を押す



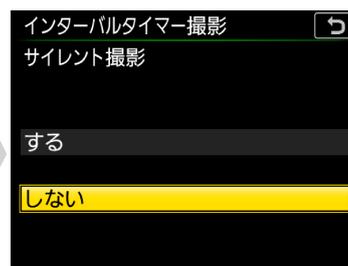
露出平滑化をするかどうかを選んで **ⓧ** ボタンを押す

### サイレント撮影を行うかどうかを選ぶ

- [する] を選ぶと、メカシャッターの耐久性を気にすることなく、シャッター音を出さずに撮影できます。
- [サイレント撮影] を [する] にした場合、撮影開始時と終了時にミラーアップ/ミラーダウンの音とシャッター音がします。
- [サイレント撮影] を [する] に設定すると、使用できない機能や設定があります。
  - ISO 感度 (□13) の Hi 0.3 ~ Hi 2
  - フラッシュ撮影
  - 露出ディレーモード
  - フリッカー低減 (□25)
  - オートブラケティング撮影
  - 多重露出撮影



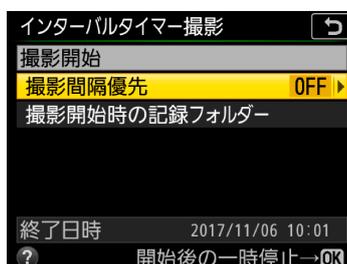
[サイレント撮影] を選んで **▶** を押す



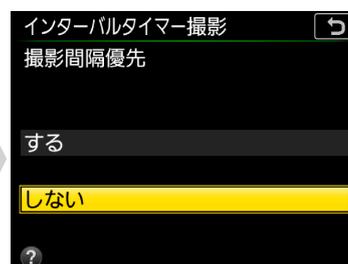
サイレント撮影をするかどうかを選んで **ⓧ** ボタンを押す

### 露光時間よりも撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選ぶ

- [撮影間隔優先] が [する] のときは、被写体にピントが合わないなど撮影できない状態になると、自動的にインターバルタイマー撮影を終了します。



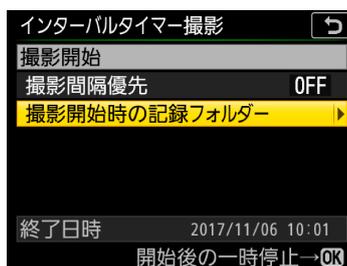
[画像サイズ/フレームレート] を選んで **▶** を押す



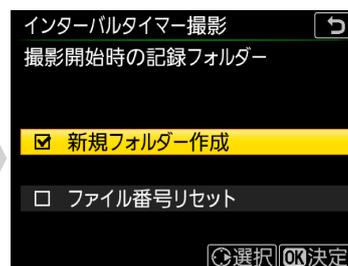
撮影間隔を優先して撮影するかどうかを選んで **ⓧ** ボタンを押す

### 撮影開始時の記録フォルダーの設定をする

- [新規フォルダー作成] のチェックをオン  にすると、インターバルタイマー撮影を開始するたびに新しいフォルダーを自動的に作成して画像を保存します。
- [ファイル番号リセット] のチェックをオン  にすると、新規フォルダーが作成されるたびにファイル番号が「0001」に戻ります。



[撮影開始時の記録フォルダー] を選んで **▶** を押す



各項目の設定をして **ⓧ** ボタンを押す

## 3 [撮影開始] を選んで **ⓧ** ボタンを押す

- 手順 2 の [開始日時の設定] で [即時] を選んでいる場合は、約 3 秒後に撮影を開始します。
- 手順 2 の [開始日時の設定] で [日時指定] を選んでいる場合は、設定した日時に撮影を開始します。
- 設定した撮影間隔とコマ数で撮影を繰り返します。



## タイムラプス動画を作成する

## 4 撮影した静止画を動画作成アプリケーションに取り込んで動画を生成する

- タイムラプス動画作成機能のあるアプリケーションに素材として静止画を取り込んで使用してください。

## ■ インターバルタイマー撮影を一時停止するには

インターバルタイマー撮影を一時停止するには、次の操作を行います。

- 撮影待機中に **ⓧ** ボタンを押す
- 撮影待機中に静止画撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] で [一時停止] を選び、**ⓧ** ボタンを押す

## ■ インターバルタイマー撮影を再開するには

インターバルタイマー撮影を再開する手順は次の通りです。

- すぐに再開する場合



[再開] を選んで **ⓧ** ボタンを押す

- 再開する日時を設定する場合



[開始日時の設定] 画面で [日時指定] を選び **▶** を押す



開始日時を設定して **ⓧ** ボタンを押す



[再開] を選んで **ⓧ** ボタンを押す

## ■ インターバルタイマー撮影を途中で終了するには

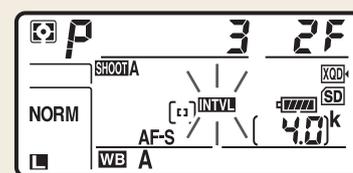
インターバルタイマー撮影を途中で終了するには、撮影待機中に静止画撮影メニュー [インターバルタイマー撮影] で [終了] を選び、**ⓧ** ボタンを押します。

## 🔍 測光低輝度限界拡張について

[露出平滑化] と [サイレント撮影] の両方を [する] にすると、測光の低輝度限界を、通常撮影時の  $-3\text{EV}$  を大幅に超える暗さまで拡張できます。露出モード **M** では不可能な、明るさが大きく変化する「星空から夜明け」や「夕暮れから星空」の移り変わりも、露出モード **A** で適正露出を保ちながらひと続きで撮影できます。

## 🔍 インターバルタイマー撮影の待機状態について

- インターバルタイマー撮影の待機状態では、表示パネルに **INTVL** マークが点滅します。撮影直前になるとシャッタースピード表示部に残りの撮影回数を、絞り値表示部にその回の残りの撮影コマ数を、それぞれ表示します。
- 待機状態でシャッターボタンを半押しすると、残りの撮影回数と撮影コマ数を表示します。



## タイムラプス動画を作成する

### ⚠ インターバルタイマー撮影についてのご注意

- 撮影間隔は、想定されるシャッタースピードに 1 回の撮影コマ数を掛けた値よりも長い時間を設定してください。実際のインターバルタイマー撮影には、インターバル時間の他、シャッタースピードやカメラが処理を行う時間などが含まれます。撮影間隔が十分な長さに設定されていない場合は、設定した撮影間隔で撮影できず、その回の撮影がキャンセルされることがあります。
- 撮影間隔が十分な長さに設定されていない場合は、設定した [撮影回数×1 回のコマ数] で撮影できないことがあります。
- スピードライトを使用する場合は、適正な発光を行うために必要な充電時間よりも長い時間を設定してください。撮影間隔が十分な長さに設定されていない場合は、発光量が不足することがあります。
- 設定した開始日時が現在時刻後 1 分以内の場合や [撮影間隔] が [00:00'00"] の場合、シャッタースピードが **bulb** (バルブ) または **- -** (タイム) の場合など、インターバルタイマー撮影を開始できないときには警告メッセージを表示します。
- メモリーカードのメモリー残量がない場合、撮影時刻ごとにカウントは進みますが、実際の撮影は行われません。メモリー残量のあるメモリーカードに交換し、インターバルタイマー撮影を再開してください。
- 次の場合はインターバルタイマー撮影が一時停止状態になります。
  - 電源を OFF にして、再度 ON にしたとき (電源が OFF の間にバッテリーやメモリーカードを交換しても、一時停止状態が持続します)
  - レリーズモードを  に切り換えたとき
- インターバルタイマー撮影中にカメラの設定を変更すると、インターバルタイマー撮影が終了する場合があります。
- AF モードが **AF-S** の場合は、撮影ごとにピント合わせを行います。
- オートフォーカスで被写体にピントが合わないときに撮影開始予定時刻を 8 秒過ぎると、[撮影間隔優先] が [する] の場合は撮影を終了します。[しない] の場合はその回の撮影をキャンセルして次の回の撮影時刻から撮影を再開します。

### ⚠ 撮影コマ数について

レリーズモードに関係なく、1 回の撮影ごとに設定された撮影コマ数が撮影されます。

### ⚠ インターバルタイマー撮影待機中の各種設定について

インターバルタイマー撮影の待機中は、各種設定やメニュー画面の操作や、画像の再生を行うことができます。ただし、メニュー画面や再生画面を表示している場合、撮影時刻の約 4 秒前に画像モニターを消灯して、撮影に入ります。

### ⚠ オートブラケティングとインターバルタイマー撮影の組み合わせについて

- インターバルタイマー撮影とオートブラケティングを同時に行う場合は、オートブラケティングを先にセットしてからインターバルタイマーを設定してください。
- インターバルタイマー撮影時に AE・フラッシュブラケティング、AE ブラケティング、フラッシュブラケティングまたは ADL ブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとにオートブラケティングで設定したコマ数が撮影されます。
- インターバルタイマー撮影時に WB ブラケティングを行う場合は、撮影時間ごとに 1 コマ撮影し、オートブラケティングで設定したコマ数が記録されます。
- [撮影間隔優先] で [する] を選んだ場合、インターバルタイマー撮影時にオートブラケティングは行えません。

### ⚠ インターバルタイマー撮影の制限について

次の場合など、インターバルタイマー撮影とは同時に使用できない機能や設定があります。

- ライブビュー撮影
- 動画撮影
- 長時間露出 (バルブまたはタイム) 撮影
- フォーカスシフト撮影
- タイムラプス動画撮影
- カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] () > [シャッターボタン] > [動画撮影]

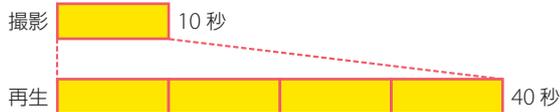
### ⚠ インターバルタイマー撮影の設定について

電源を OFF にしたり、レリーズモードを切り換えたりした場合も、設定した内容は記憶されています。

# スローモーション動画を撮影する

[画像サイズ/フレームレート] (☑12) で [1920 × 1080 30p 4 倍スロー]、[1920 × 1080 25p 4 倍スロー]、または [1920 × 1080 24p 5 倍スロー] を選ぶとスローモーション動画を撮影できます。音声は記録されません。

- 例えば [1920 × 1080 30p 4 倍スロー] の場合、120p のフレームレートで読み出した画像を 30p の動画として記録します。約 10 秒間撮影した動画は、約 40 秒かけて再生されます。スポーツでのボールのインパクトの瞬間など、一瞬の出来事をゆっくりと見たいときに便利です。



- 画像を読み出すときのフレームレートと、動画を記録および再生するときのフレームレートは次の通りです。

画像サイズ/フレームレート	画像を読み出すときのフレームレート	動画を記録・再生するときのフレームレート
1920 × 1080 30p 4 倍スロー	120p (119.88 コマ/秒)	30p (29.97 コマ/秒)
1920 × 1080 25p 4 倍スロー	100p (100 コマ/秒)	25p (25 コマ/秒)
1920 × 1080 24p 5 倍スロー	120p (119.88 コマ/秒)	24p (23.976 コマ/秒)

## スローモーション動画撮影時の注意

- スローモーション動画の撮像範囲は、装着レンズや [撮像範囲設定] (☑20) の設定にかかわらず、[DX] に固定されます。
- スローモーション動画の画質は標準に固定されます。
- AF エリアモードで、顔認識 AF、ピンポイント AF、およびターゲット追尾 AF は選べません。顔認識 AF、ピンポイント AF、またはターゲット追尾 AF が選ばれている場合は、ワイドエリア AF で撮影します。

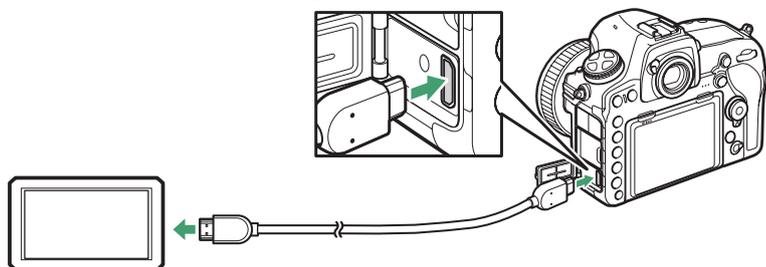
# HDMI 対応機器に出力する

HDMI モニターに出力したり、HDMI 対応の外部レコーダーと接続して、直接 HDMI 機器で録画することもできます。

## HDMI ケーブルを使って外部レコーダーと接続する

接続には、別売の HDMI 端子用ケーブルまたは市販の HDMI 端子用ケーブル（Type C）が必要です。別途お買い求めください。HDMI ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源を OFF にしてください。

HDMI 端子（カメラ側）



HDMI 端子（外部機器側。使用する外部機器の端子に合ったケーブルをお使いください）

## HDMI 対応機器との接続時の設定を変更する

セットアップメニューの [HDMI] で、HDMI 対応機器との接続時の設定を変更できます。



### ■ 出力解像度

HDMI 対応機器への出力解像度を設定できます。

- [出力解像度] が [オート] の場合、出力先の映像信号形式を自動的に検出します。

### ■ 外部記録制御

[外部記録制御] を [する] に設定すると、Atomos Open Protocol に対応した市販の外部レコーダー（Atomos 社の SHOGUN、SHOGUN STUDIO、SHOGUN FLAME、SHOGUN INFERNO、NINJA BLADE、NINJA FLAME、NINJA INFERNO または SUMO）とカメラを HDMI ケーブルで接続したときに、カメラ側の操作に連動して外部レコーダーの動画記録の開始および終了を行えます。

- 動画の画像サイズ（□12）が 3840 × 2160 または 1920 × 1080 スローの場合、カメラ側で動画記録の操作を行っても外部レコーダーを連動させることはできません。外部レコーダーで動画記録を行う場合は、外部レコーダー側で操作してください。
- 外部レコーダーと接続して、[外部記録制御] を [する] に設定すると、カメラの液晶モニターにアイコン（動画ライブビュー中：☞STBY、動画記録中：☞REC）が表示されます。動画を記録するときは、外部レコーダーの表示や、外部レコーダーで動画が記録されていることをご確認ください。
- カスタムメニュー c4 [モニターのパワーオフ時間] の [ライブビュー表示] で設定した時間が経過すると、画像モニターが自動的に消灯して外部レコーダーにも映像が送られなくなります。[ライブビュー表示] の設定は、動画を撮影する時間よりも長い時間を設定してください。
- カメラにメモリーカードを入れている場合、カメラでも動画を記録します。
  - メモリーカードの空き容量がなくなるなど、動画記録が自動的に終了した場合は外部記録も同時に終了します。
  - メモリーカードのエラーが発生していたり、SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされている場合、外部記録も開始できません。
- 接続するレコーダーによっては、外部レコーダー側で設定を変更する必要があります。詳しくは外部レコーダーの使用説明書をご覧ください。

## HDMI 対応機器に出力する

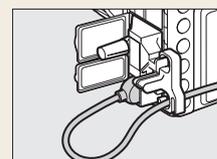
## ■ 詳細設定

出力レンジ	ビデオ信号の色階調の入力範囲 (RGB レンジ) は、HDMI 対応機器によって異なります。通常は、HDMI 対応機器に合わせて自動で出力レンジを切り換える <b>[オート]</b> をお使いください。HDMI 対応機器の RGB レンジを識別できない場合は、次のいずれかを選んでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>リミテッドレンジ</b> : RGB レンジが 16 ~ 235 の機器に適しています。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。</li> <li>● <b>フルレンジ</b> : RGB レンジが 0 ~ 255 の機器に適しています。黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に選びます。</li> </ul>
出力画面サイズ	HDMI 対応機器の画面に出力する範囲を、95%と 100%から選びます (いずれも上下左右とも)。
ライブビュー時の情報表示	HDMI 接続してライブビュー撮影をするときに、HDMI 対応機器に撮影情報を表示するかどうかを設定します。 <b>[しない]</b> に設定している場合、または動画の画像サイズを 3840 × 2160 または 1920 × 1080 スローに設定している場合は、撮影情報が表示されません。
モニターの同時表示	HDMI 対応機器との接続時に、カメラの画像モニターを点灯させるかどうかを設定します。 <b>[しない]</b> を選ぶと、画像モニターが消灯するため、カメラのバッテリーの消費を少なくすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 動画の画像サイズを 3840 × 2160 または 1920 × 1080 スローに設定している場合は、常に画像モニターは点灯します。</li> <li>● <b>[ライブビュー時の情報表示]</b> が <b>[しない]</b> の場合、<b>[モニターの同時表示]</b> は <b>[する]</b> に固定されます。</li> </ul>

## 🔧 HDMI/USB ケーブルクリップについて

付属の HDMI/USB ケーブルクリップを取り付けると、カメラから別売の HDMI ケーブルや USB ケーブルが不用意に外れることを防ぐことができます (HDMI/USB ケーブルクリップは、市販の HDMI 端子用ケーブルで使用できない場合があります)。

- HDMI/USB ケーブルクリップを使用するときは、画像モニターを収納してください。



HDMI ケーブルを使用する場合

# 動画再生時の便利な機能

動画再生時には次のような操作ができます。

## 10秒進める / 10秒戻す

メインコマンドダイヤルを1クリック回すと、10秒前または後に移動します。

## インデックスマークに移動する

動画記録時に設定したインデックスマークに移動するには、サブコマンドダイヤルを回します。サブコマンドダイヤルを回すと、前後のインデックスマークに移動します。

### 🔍 インデックスマーク

- 動画記録中に、カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] (□35) で [インデックスマーク] を割り当てたボタンを押すと、記録中の動画のフレームにインデックスマークを付けることができます。
- インデックスマークは1つの動画に最大20個まで付けられます。



## 先頭フレーム / 最終フレームに移動する

動画のフレームにインデックスマークがない場合にサブコマンドダイヤルを回すと、先頭フレームまたは最終フレームに移動します。

## スロー再生する

一時停止中に [S] を押すとスロー再生します。

## タッチパネルで操作する

### ■ 再生 / 一時停止する

画面上の [再生] アイコンをタッチすると動画を再生します。動画再生中に画面をタッチすると一時停止し、一時停止中に画面をタッチすると再生を再開します。



再生アイコン

### ■ 再生位置をジャンプする

動画再生中にプログレスバーをタッチすると、再生位置をタッチしたところまでジャンプして一時停止します。長い動画の場合、一気に目的付近の再生位置までジャンプできます。



プログレスバー

### ■ 音量を調節する

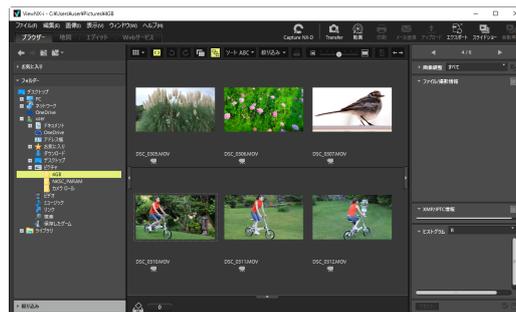
動画再生中に [音量] または [音量調節] アイコンをタッチすると、音量を調節できます。



音量調節

# 分割記録された動画を結合する

D850 で動画を撮影すると、最大 8 個のファイルに分割されて記録されます。各ファイルのファイルサイズは最大で 4GB です。分割された動画は、ViewNX-i を使用して結合できます。



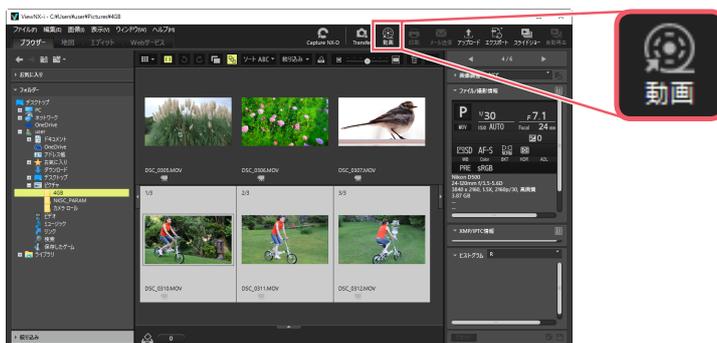
## 1 結合したいファイルの 1 つを選んで右クリックし、[分割して記録された動画を探す] を選ぶ

- 一度の撮影で分割して記録された動画がすべて選択されます。



## 2 [動画] ボタンをクリックする

- ViewNX-Movie Editor が起動します。



## 3 [動画を連結する] をクリックする



## 4 [保存先] と [ファイル名] を指定して [出力] をクリックする

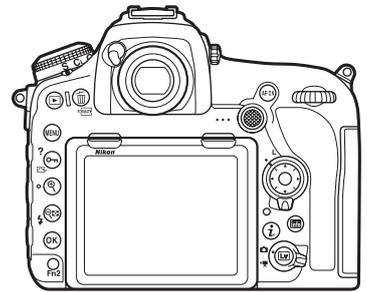
- 選んだ動画が結合されて保存されます。



# イメージセンサークリーニングについて

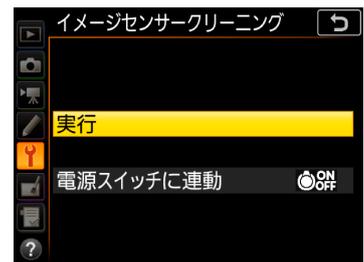
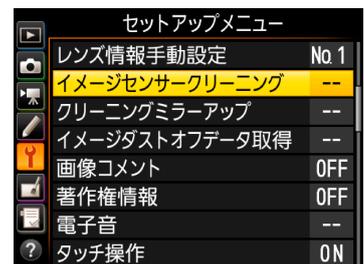
レンズを取り付けるときなどに、撮像素子前面にゴミやほこりが付くと、画像に影が写り込むことがあります。イメージセンサークリーニングを作動させると、撮像素子前面のゴミをふるい落とすことができます。

- 1 効果的にゴミをふるい落とせるように、正位置（カメラを横位置で構えるときの向き）に置く



- 2 セットアップメニューの [イメージセンサークリーニング] を選び、[実行] を選んで **OK** ボタンを押す

- イメージセンサークリーニングが開始されます。実行中は、表示パネルに **busy** が点滅し、撮像素子のチェックも行われます。
- イメージセンサークリーニング実行中は、カメラの操作はできません。バッテリーや AC アダプターを取り外さないでください。
- クリーニングが完了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。



# トラブルシューティング

## カメラが高温になるのを抑えるには

長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ（ざらつき、むら、輝点）が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。

- ライブビュー時に **MENU** ボタンを押すと、ライブビューを保持した状態でメニュー画面が表示されます。すぐに撮影を再開しない場合は、一度ライブビューを終了してから **MENU** ボタンを押すようにしてください。

## 動画記録時に発生しやすい現象について

- 動画撮影時の画像モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
  - 動きのある被写体が歪む - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
  - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
  - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
  - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
  - パワー絞りを作動中、画面にちらつきが発生する
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」が発生する場合があります。その場合、動画撮影メニュー [**フリッカー低減**] (M25) の設定を変更すると、フリッカー現象を軽減できます。被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- ライブビュー時に、**Q** ボタンで画面を拡大した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が目立ちやすくなります。

## 記録した動画の保存について

- 次のような場合は、記録中の動画を保存して動画記録を自動的に終了します。
  - 最長記録時間に達したとき
  - メモリーカードまたはバッテリーの残量がなくなったとき
  - ライブビューセレクターを切り換えたとき
  - レンズを取り外したとき
  - カメラの内部温度が上昇したとき
- 動画記録中にバッテリーを抜いた場合、記録中の動画は保存されません。

## トラブルシューティング

### メニュー項目が選択できない場合の対処方法について

次のメニューの項目が選択できない場合、カメラの設定を変えることで解決することがあります。

#### ■ 動画撮影メニュー

撮像範囲 (□20)	[画像サイズ/フレームレート] (□12) をスローモーション動画以外に設定する。
画像サイズ/フレームレート (□12)	カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] (□35) でカスタムボタンに割り当てた [撮像範囲選択] を解除する。
動画の画質 (□12)	[画像サイズ/フレームレート] (□12) を 4K UHD およびスローモーション動画以外に設定する。
ホワイトバランス (□14)	
プリセットマニュアル	
使用する画像の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 記録先を PC 以外にする。</li> <li>● メモリーカードが挿入されていることを確認する。</li> <li>● メモリーカードが壊れていないか確認する。</li> <li>● フォーマットされていないメモリーカードがないか確認する。</li> <li>● メモリーカードに撮影した画像があるか確認する。</li> <li>● 選択中のプリセットデータのプロテクトを解除する。</li> <li>● 画像の記録が終了するまで待つ (多重露出撮影中も含む)。</li> </ul>
ピクチャーコントロール (□16)	
オート	
明瞭度	動画には反映されません。
スタンダード	
明瞭度	動画には反映されません。
ニュートラル	
クイック調整	動画では選択できません。
明瞭度	動画には反映されません。
ビビッド	
明瞭度	動画には反映されません。
モノクローム	
明瞭度	動画には反映されません。
ポートレート	
明瞭度	動画には反映されません。
風景	
明瞭度	動画には反映されません。
フラット	
クイック調整	動画では選択できません。
明瞭度	動画には反映されません。
カスタム 1-9	
クイック調整	動画では選択できません。
明瞭度	動画には反映されません。
コントラスト	Picture Control Utility 2 を使ってカスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールの場合、選択できません。
明るさ	Picture Control Utility 2 を使ってカスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールの場合、選択できません。
メモリーカードを使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カスタムピクチャーコントロールを保存するメモリーカードを挿入する。</li> <li>● フォーマットされていないメモリーカードがないか確認する。</li> <li>● メモリーカードが壊れていないか確認する。</li> <li>● PC モードを終了する。</li> </ul>
メモリーカードから削除	カスタムピクチャーコントロールを保存するメモリーカードのプロテクトを解除する。
メモリーカードにコピー	カスタムピクチャーコントロールを保存するメモリーカードのプロテクトを解除する。
アクティブ D-ライティング (□25)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (□12) を 4K UHD およびスローモーション動画以外に設定する。</li> <li>● [ピーキングの検出] (□32) を [しない] に設定する。</li> </ul>	
マイク感度 (□26)	
アッテネーター (□26)	
録音帯域 (□27)	
風切り音低減 (□27)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部マイクを取り外す。</li> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (□12) をスローモーション動画以外に設定する。</li> </ul>	

カスタムピクチャーコントロール	画像の記録が終了するまで待つ (多重露出撮影中も含む)。
オート	
明瞭度	動画には反映されません。
スタンダード	
明瞭度	動画には反映されません。
ニュートラル	
クイック調整	動画では選択できません。
明瞭度	動画には反映されません。
ビビッド	
明瞭度	動画には反映されません。
モノクローム	
明瞭度	動画には反映されません。
ポートレート	
明瞭度	動画には反映されません。
風景	
明瞭度	動画には反映されません。
フラット	
クイック調整	動画では選択できません。
明瞭度	動画には反映されません。
カスタム 1-9	
クイック調整	動画では選択できません。
明瞭度	動画には反映されません。
コントラスト	Picture Control Utility 2 を使ってカスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールの場合、選択できません。
明るさ	Picture Control Utility 2 を使ってカスタムトーンカーブを調整したピクチャーコントロールの場合、選択できません。
メモリーカードを使用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カスタムピクチャーコントロールを保存するメモリーカードを挿入する。</li> <li>● フォーマットされていないメモリーカードがないか確認する。</li> <li>● メモリーカードが壊れていないか確認する。</li> <li>● PC モードを終了する。</li> </ul>
メモリーカードから削除	カスタムピクチャーコントロールを保存するメモリーカードのプロテクトを解除する。
メモリーカードにコピー	カスタムピクチャーコントロールを保存するメモリーカードのプロテクトを解除する。
アクティブ D-ライティング (□25)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (□12) を 4K UHD およびスローモーション動画以外に設定する。</li> <li>● [ピーキングの検出] (□32) を [しない] に設定する。</li> </ul>	
マイク感度 (□26)	
アッテネーター (□26)	
録音帯域 (□27)	
風切り音低減 (□27)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部マイクを取り外す。</li> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (□12) をスローモーション動画以外に設定する。</li> </ul>	

## トラブルシューティング

タイムラプス 動画 (☞41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CPU レンズを装着する。</li> <li>● 多重露出を終了する。</li> <li>● インターバルタイマー撮影を終了する。</li> <li>● フォーカスシフト撮影を終了する。</li> <li>● 日付と時刻を設定する。</li> <li>● オートブラケティングを終了する。</li> <li>● HDR を終了する。</li> <li>● PC モードを終了する。</li> <li>● HDMI 接続を終了する。</li> <li>● シャッタースピードを Bulb、TIME 以外に設定する。</li> <li>● [ネガフィルムデジタイズ] を終了する。</li> </ul>
撮影開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 撮影時間を撮影間隔よりも短く設定する。</li> <li>● 指定されたスロットのメモリーカード残量が、記録するタイムラプス動画よりも多いことを確認する。</li> <li>● 画像の記録が終了するまで待つ。</li> <li>● 画像の転送を中止する。</li> <li>● [タイムラプス動画] の [画像サイズ/フレームレート] の設定が 4K UHD の場合は、[撮影間隔] と [撮影時間] により算出された記録時間を 3 分よりも短くする。</li> </ul>
電子手ブレ補正 (☞21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (☞12) を 4K UHD およびスローモーション動画以外に設定する。</li> <li>● [ピーキングの検出] (☞32) を [しない] に設定する。</li> </ul>

### ■ 動画撮影時の *i* ボタン

動画撮影メニューと共通のメニューについては、56 ページの動画撮影メニューをご覧ください。

モニターの 明るさ (☞39)	HDMI 接続時、[HDMI] (☞50) にある [詳細設定] の [モニターの同時表示] を [する] に設定する。
マルチセクター によるパワー絞 り (☞34)	[マルチセクターによる露出補正] を [しない] に設定する。
マルチセクター による露出補正 (☞34)	[マルチセクターによるパワー絞り] を [しない] に設定する。
ピーキングの 検出 (☞32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [電子手ブレ補正] (☞21) を [しない] に設定する。</li> <li>● 動画撮影メニュー [アクティブ D-ライティング] (☞25) を [しない] に設定する。</li> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (☞12) を 4K UHD およびスローモーション動画以外に設定する。</li> <li>● [ハイライト表示] (☞38) を [しない] に設定する。</li> </ul>

### ■ 動画記録中の *i* ボタン

マイク感度 (☞26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スローモーション動画記録時は、マイク感度は変更できません。</li> <li>● マイク感度を [録音しない] に設定して動画記録を開始した場合、動画記録中に設定を変更することはできません。</li> </ul>
録音しない	マイク感度を [録音しない] 以外に設定して動画記録を開始した場合、動画記録中にマイク感度を [録音しない] に変更することはできません。
アッテネーター (☞26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スローモーション動画記録時は、使用できません。</li> </ul>
録音帯域 (☞27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マイク感度を [録音しない] に設定して動画記録を開始した場合、動画記録中に設定を変更することはできません。</li> </ul>
風切り音低減 (☞27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スローモーション動画記録時は、使用できません。</li> <li>● マイク感度を [録音しない] に設定して動画記録を開始した場合、動画記録中に設定を変更することはできません。</li> <li>● 外部マイク使用時は設定を変更できません。</li> </ul>
マルチセクター によるパワー絞 り (☞34)	[マルチセクターによる露出補正] を [しない] に設定する。
マルチセクター による露出補正 (☞34)	[マルチセクターによるパワー絞り] を [しない] に設定する。
ピーキングの 検出 (☞32)	<p>次の設定をして動画記録を開始した場合、[ピーキングの検出] は使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [電子手ブレ補正] (☞21) を [する]。</li> <li>● 動画撮影メニュー [アクティブ D-ライティング] (☞25) を [しない] 以外。</li> <li>● [画像サイズ/フレームレート] (☞12) を 4K UHD およびスローモーション動画。</li> <li>● [ハイライト表示] (☞38) を [する]。</li> </ul>

### ■ 静止画撮影メニュー

インターバル タイマー撮影 (☞45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日付と時刻を設定する。</li> <li>● PC モードを終了する。</li> <li>● [ネガフィルムデジタイズ] を終了する。</li> <li>● タイムラプス動画を終了する。</li> <li>● フォーカスシフト撮影を終了する。</li> </ul>
撮影開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多重露出を終了する。</li> <li>● レリーズモードをセルフタイマー撮影以外に設定する。</li> <li>● カスタムメニュー g1 [カスタムボタンの機能] の [シャッターボタン] が [動画撮影] に設定されている場合は、ライブビューセレクターを静止画ライブビューに設定する。</li> </ul>
サイレント撮影	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オートブラケティングを終了する。</li> <li>● 多重露光を終了する。</li> </ul>
撮影間隔優先	オートブラケティングを終了する。

# D850 動画機能関連スペック一覧

撮像素子	
方式	35.9 × 23.9mm サイズ CMOS センサー
総画素数	4689 万画素
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング、イメージダストオフデータ取得 (Capture NX-D が必要)

記録形式	
記録媒体	XQD カード、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード (SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは UHS-II 規格に対応)

動画機能	
測光方式	撮像素子による TTL 測光方式
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光、ハイライト重点測光
記録画素数 / フレームレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3840 × 2160 (4K UHD) : 30p/25p/24p</li> <li>● 1920 × 1080 : 60p/50p/30p/25p/24p</li> <li>● 1280 × 720 : 60p/50p</li> <li>● 1920 × 1080 スロー : 30p (4 倍) / 25p (4 倍) / 24p (5 倍)</li> </ul> ※ 60p : 59.94fps、50p : 50fps、30p : 29.97fps、25p : 25fps、24p : 23.976fps ※ 標準 / ★ 高画質選択可能 (3840 × 2160 は ★ 高画質のみ、1920 × 1080 スローは標準のみ)
ビデオサンプリングレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部記録 : 4:2:0 8bit</li> <li>● HDMI 出力 : 4:2:2 8bit</li> </ul>
ファイル形式	MOV、MP4
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	48kHz、16bit、リニア PCM、AAC
録音装置	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能、マイク感度設定可能
ISO 感度 (推奨露光指数)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>M</b> : ISO 64 ~ 25600 (1/3、1/2、1 ステップ)、ISO 25600 に対し約 0.3、0.5、0.7、1 段、2 段 (ISO 102400 相当) の増感、感度自動制御 (ISO 64 ~ Hi 2) が可能、制御上限感度が設定可能</li> <li>● <b>P、S、A</b> : 感度自動制御 (ISO 64 ~ Hi 2)、制御上限感度が設定可能</li> </ul>
アクティブ D-ライティング	静止画の設定と同じ、より強め、強め、標準、弱め、しない
その他の機能	インデックスマーク、タイムラプス動画、電子手ブレ補正

ホワイトバランス	
ホワイトバランス	静止画の設定と同じ、オート (3 種)、自然光オート、電球、蛍光灯 (7 種)、晴天、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル (6 件登録可、ライブビュー時にスポットホワイトバランス取得可能)、色温度設定 (2500K ~ 10000K)、いずれも微調整可能

ピクチャーコントロール	
ピクチャーコントロールシステム	静止画の設定と同じ、オート、スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、フラット、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能

画像モニター	
画像モニター	チルト式 3.2 型 TFT 液晶モニター (タッチパネル)、約 236 万ドット (XGA)、視野角 170°、視野率約 100%、明るさ調整可能

インターフェース	
USB	SuperSpeed USB (USB 3.0 Micro-B 端子) (標準装備された USB ポートへの接続を推奨)
HDMI 出力	HDMI 端子 (Type C) 装備
外部マイク入力	ステレオミニジャック (φ 3.5mm)、プラグインパワーマイク対応
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック (φ 3.5 mm)

電源	
使用電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15a* 1 個使用 ※ EN-EL15a の代わりに EN-EL15 も使えます。ただし、EN-EL15a を使用したときよりも撮影可能コマ数 (電池寿命) が減少する場合があります。
バッテリーパック	マルチパワーバッテリーパック MB-D18 (別売) : Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL18b (別売)* <sup>1</sup> または EN-EL15a* <sup>2</sup> 1 個使用。単 3 形電池 (アルカリ電池、ニッケル水素充電電池、リチウム電池) 8 本使用 ※ 1 別売のバッテリーチャージャー MH-26a または MH-26 と、別売のバッテリー室カバー BL-5 が必要です。また、EN-EL18b の代わりに EN-EL18a/EN-EL18 も使えます。EN-EL18 を使用した場合は、EN-EL18b/EN-EL18a を使用したときよりも撮影可能コマ数 (電池寿命) が減少します。 ※ 2 EN-EL15a の代わりに EN-EL15 も使えます。ただし、EN-EL15a を使用したときよりも撮影可能コマ数 (電池寿命) が減少する場合があります。
AC アダプター	AC アダプター EH-5c/EH-5b (パワーコネクター EP-5B と組み合わせて使用) (別売)

三脚ネジ穴	
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)